

平成26年度  
市民意識調査結果報告書  
(概要版)

平成27年2月  
恵那市

## 目次

1	回答者について	1
2	施策の満足度・重要度について	2
3	分野別施策満足度の経年比較について	6
4	分野別施策重要度の経年比較について	12
5	求められるまちづくりの方向性について	18
	(1) 満足度・不満度・重要度の上位 10 項目	18
	(2) 全施策マトリックス図	19
6	個別施策について	21
	(1) 人口減少対策について	21
	(2) 健康づくりについて	21
	(3) 子育てについて	23
	(4) 生活環境について	24
	(5) 防災・消防について	25
	(6) 公共交通について	26
	(7) 産業振興について	26
	(8) 学校教育について	27
	(9) 生涯学習について	27
	(10) 市民参加・市民協働について	28
	(11) 行財政運営について	30
	(12) 市議会の活動について	31
	(13) 避難行動について	32
	(14) 男女共同参画社会について	34

## 調査の概要

### ●調査の目的

本調査は、市のこれまでの取り組みに対する市民の評価と、これからのまちづくりに対する考えを把握し、今後の市政運営の基礎資料とするため実施しました。その調査結果については、今後の施策の達成度を測る指標とし、市民が満足する市政の実現に向けて活用することを目的としています。

### ◎調査地域

恵那市全域

### ◎調査対象者

市民（20歳以上）：2,500人（住民基本台帳より無作為抽出）

### ◎調査の方法と期間

本調査は郵便による送・返信での質問紙調査法により、平成27年1月9日から平成27年1月22日までの期間で実施しました。

#### 〔アンケート回収状況〕

発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)	有効回答数※ (C)	有効回答率 (C/A)
2,500 件	1,451 件	58.0%	1,451 件	58.0%

※無効回答とする全ての設問に回答がないものは0件でした。

### ◎表記方法

単数回答の集計にあたっては、原則として小数点以下第2位を四捨五入したうえで、割合の合計が100.0%になるように調整しています。一方、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定条件に該当する人）を表しています。

# 1 回答者について

図1-1 性別 (単数回答)

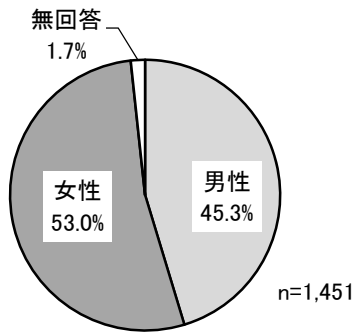


図1-2 年齢 (単数回答)

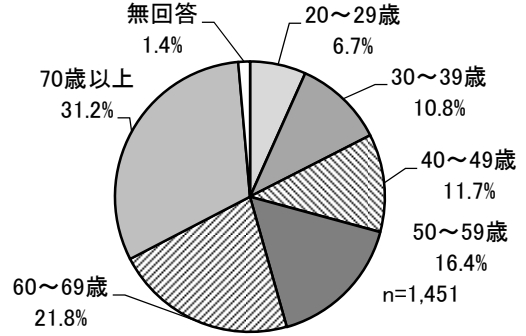


図1-3 居住地 (単数回答)

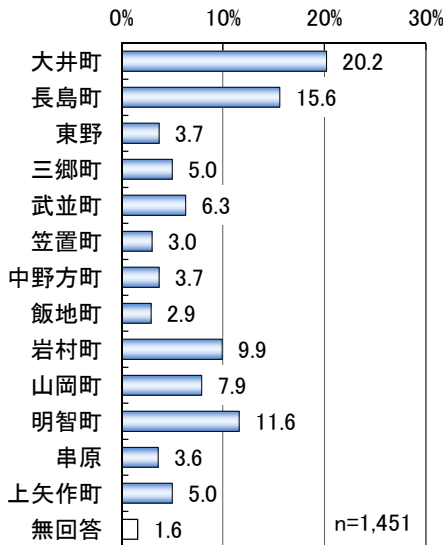


図1-4 職業 (単数回答)

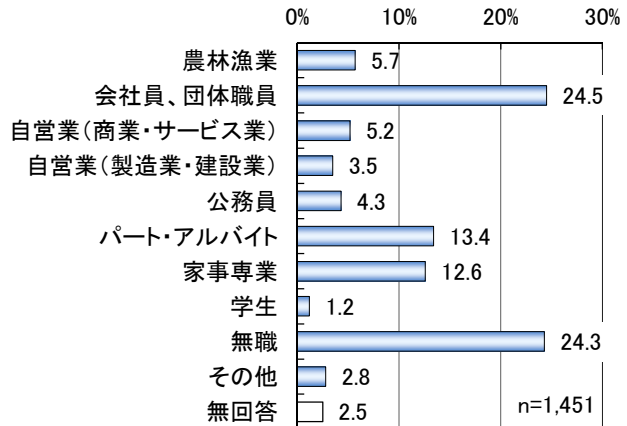


図1-5 居住年数 (単数回答)

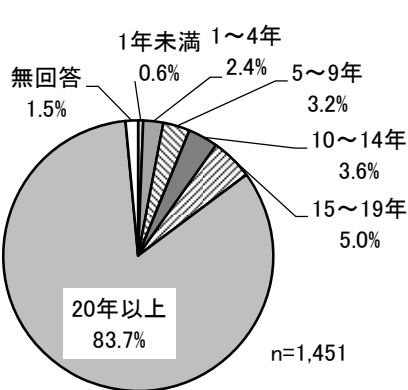


図1-6 居住形態 (単数回答)

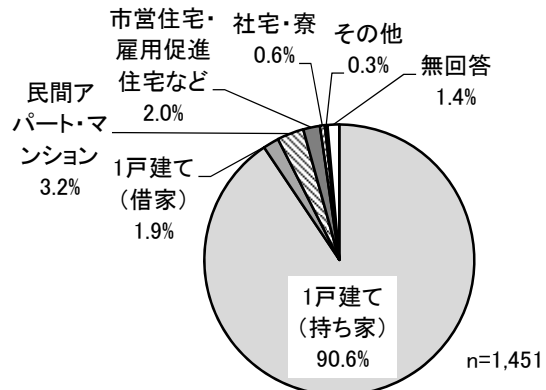


図1-7 家族構成 (単数回答)

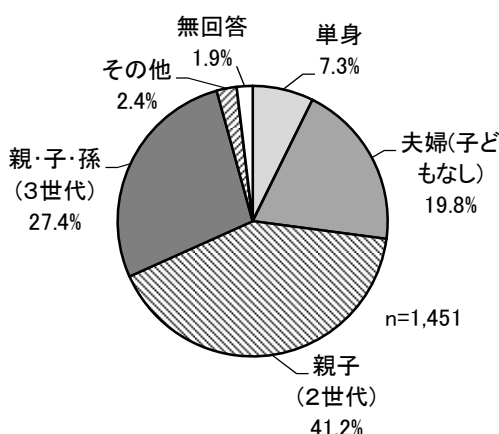
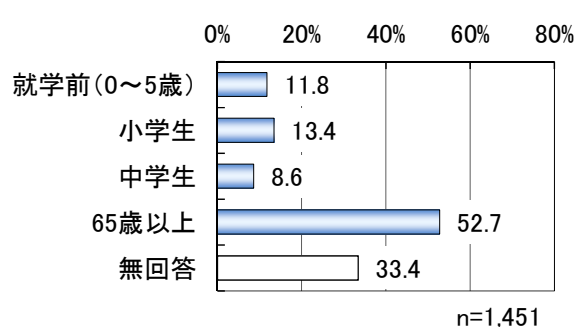


図1-8 同居家族 (複数回答)



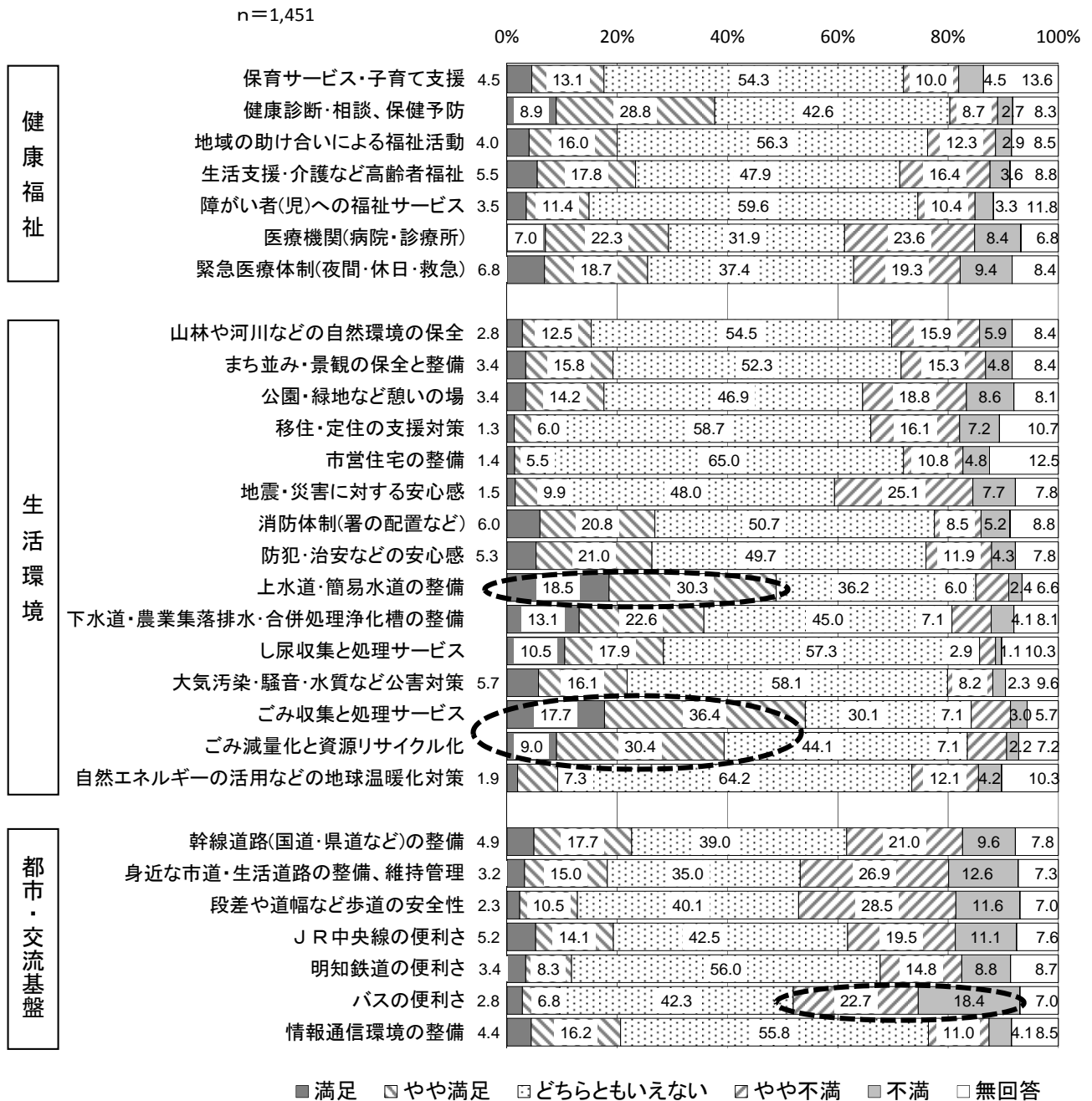
## 2 施策の満足度・重要度について

### (1) 全57施策の満足度（今回調査一覧）

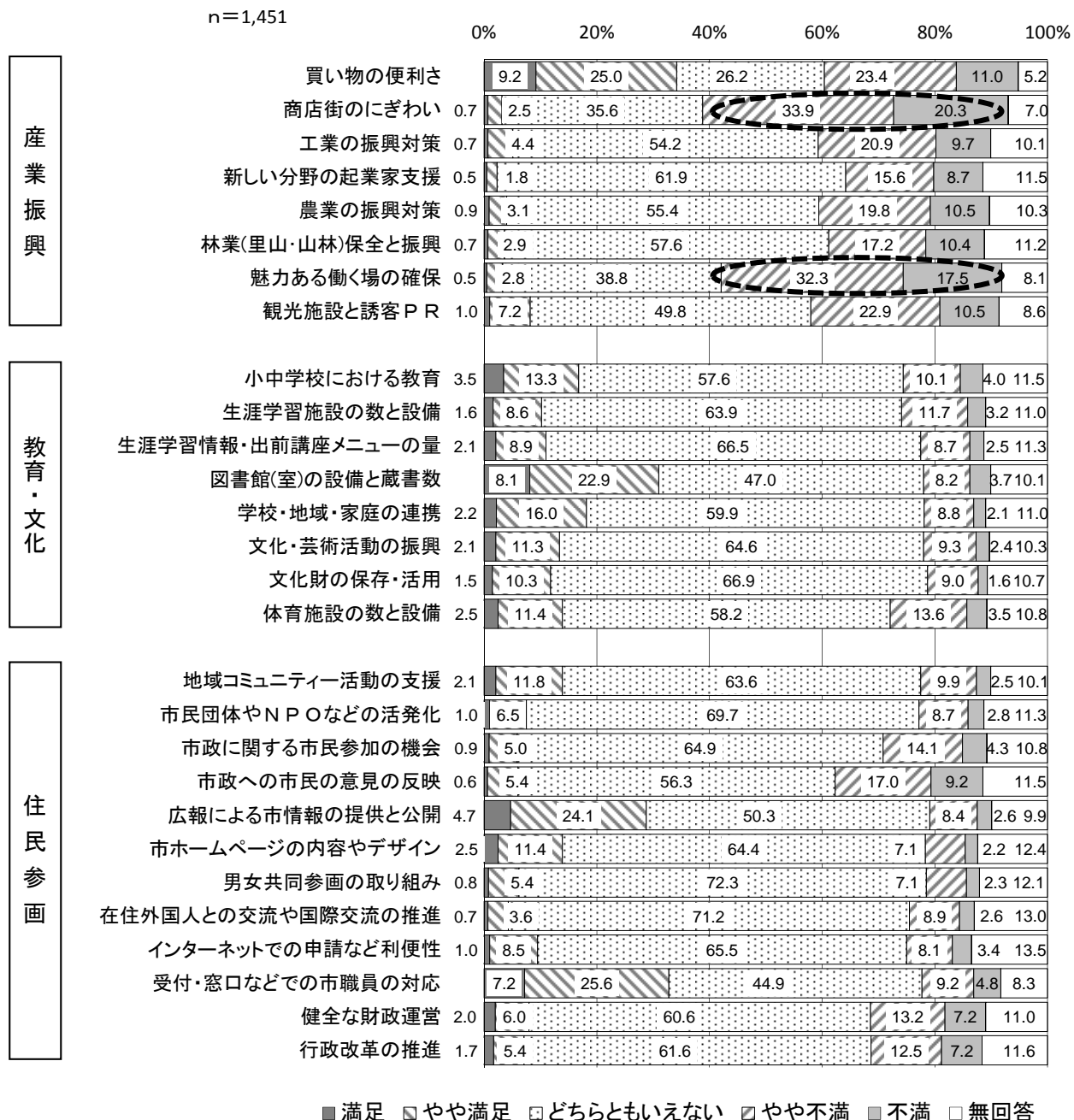
【問9】「1」～「5」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。  
 (単数回答)

満足度（「満足」と「やや満足」の合算）の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」が54.1%、「上水道・簡易水道の整備」が48.8%、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が39.4%となっています。

図2-1 全57施策の満足度（単数回答）



また、不満度（「やや不満」と「不満」の合算）の高い施策は、「商店街のにぎわい」が54.2%、「魅力ある働く場の確保」が49.8%、「バスの便利さ」が41.1%となっています。

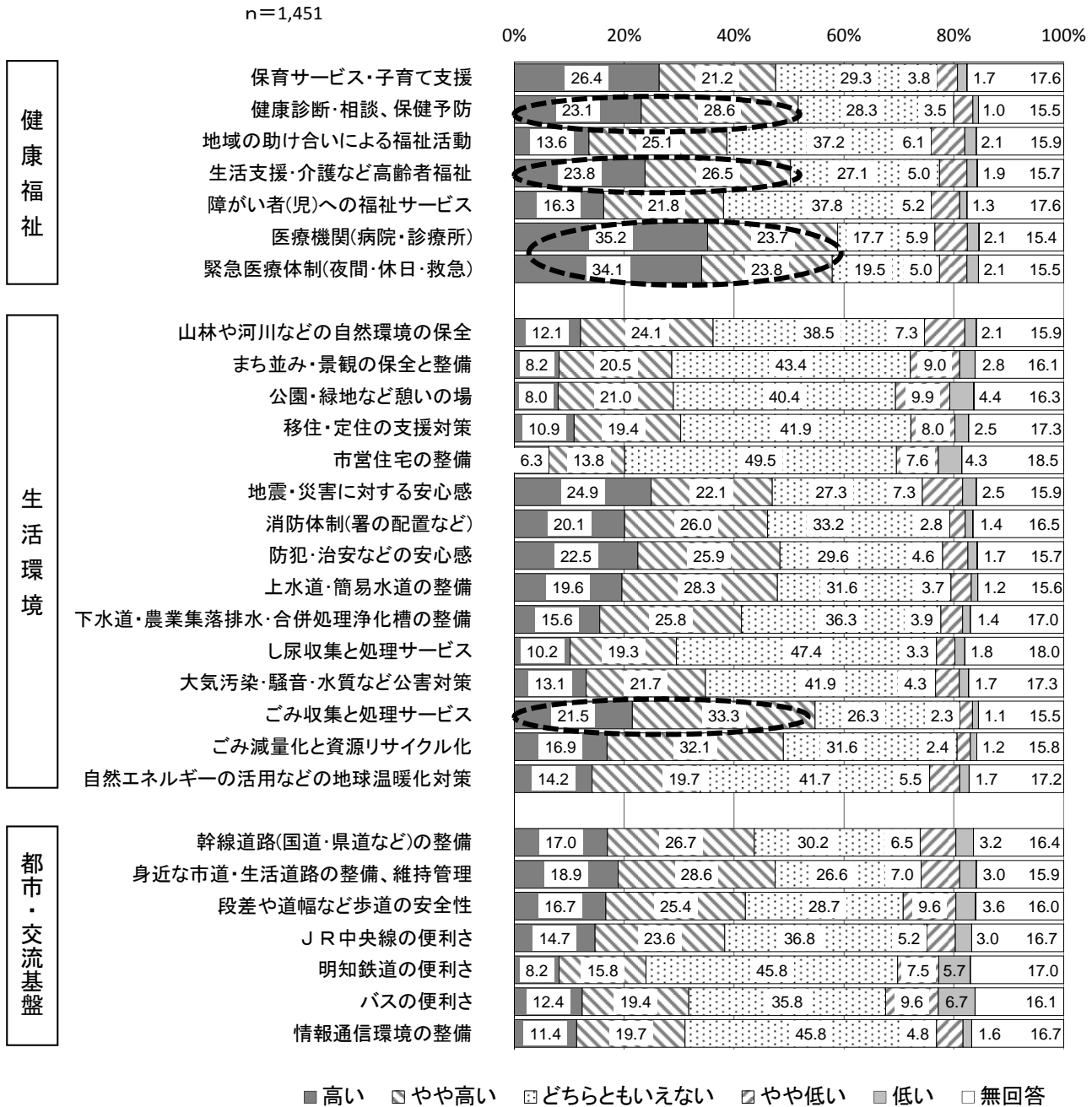


## (2) 全57施策の重要度（今回調査一覧）

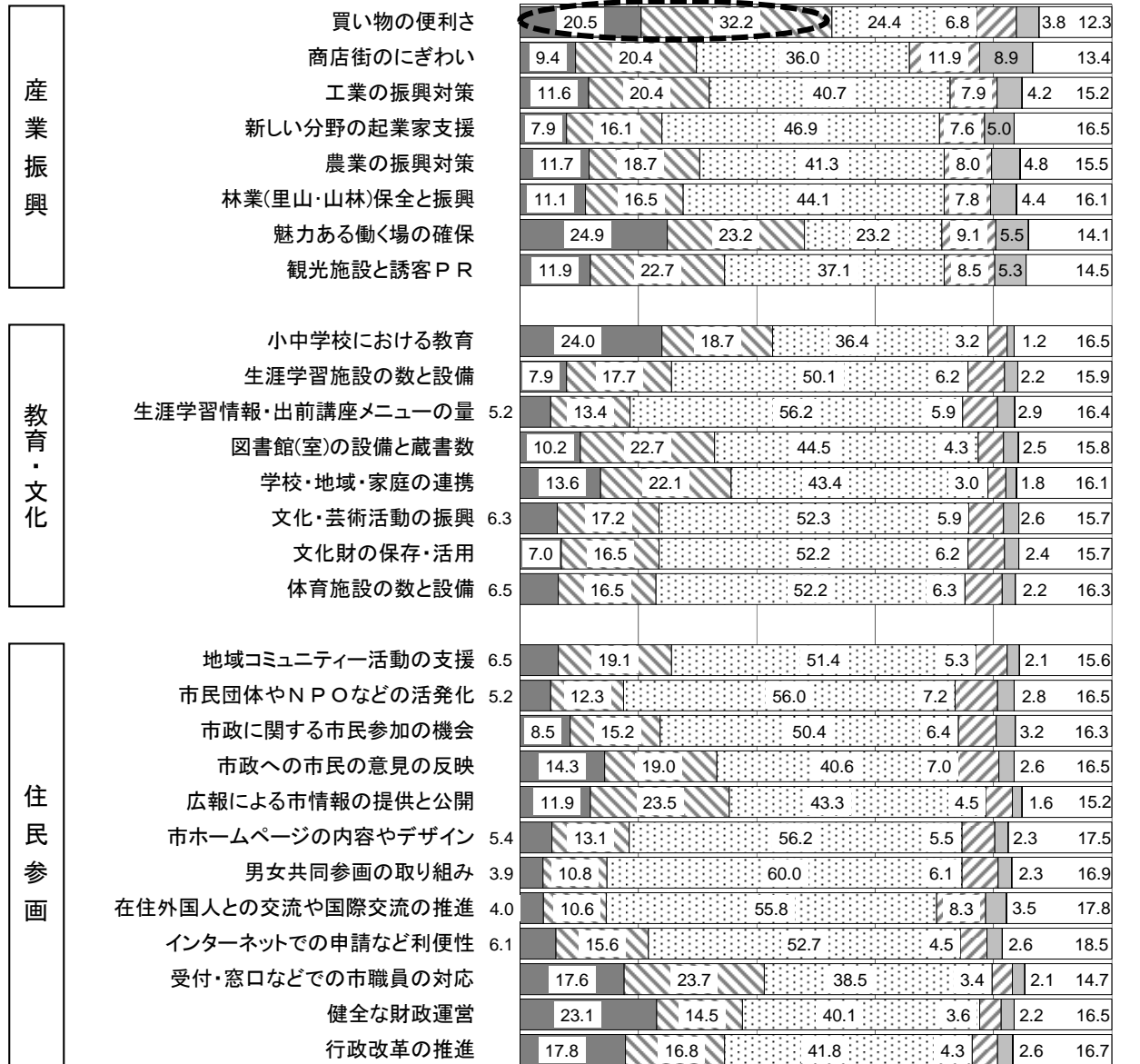
【問9】「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。  
(単数回答)

重要度（「高い」と「やや高い」の合算）の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」が58.9%、「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」が57.9%、「ごみ収集と処理サービス」が54.8%、「買い物の便利さ」が52.7%、「健康診断・相談、保健予防」が51.7%、「生活支援・介護などの高齢者福祉」が50.3%となっています。

図2-2 全57施策の重要度（単数回答）



n=1,451



■ 高い □ やや高い □ どちらともいえない □ やや低い ■ 低い □ 無回答

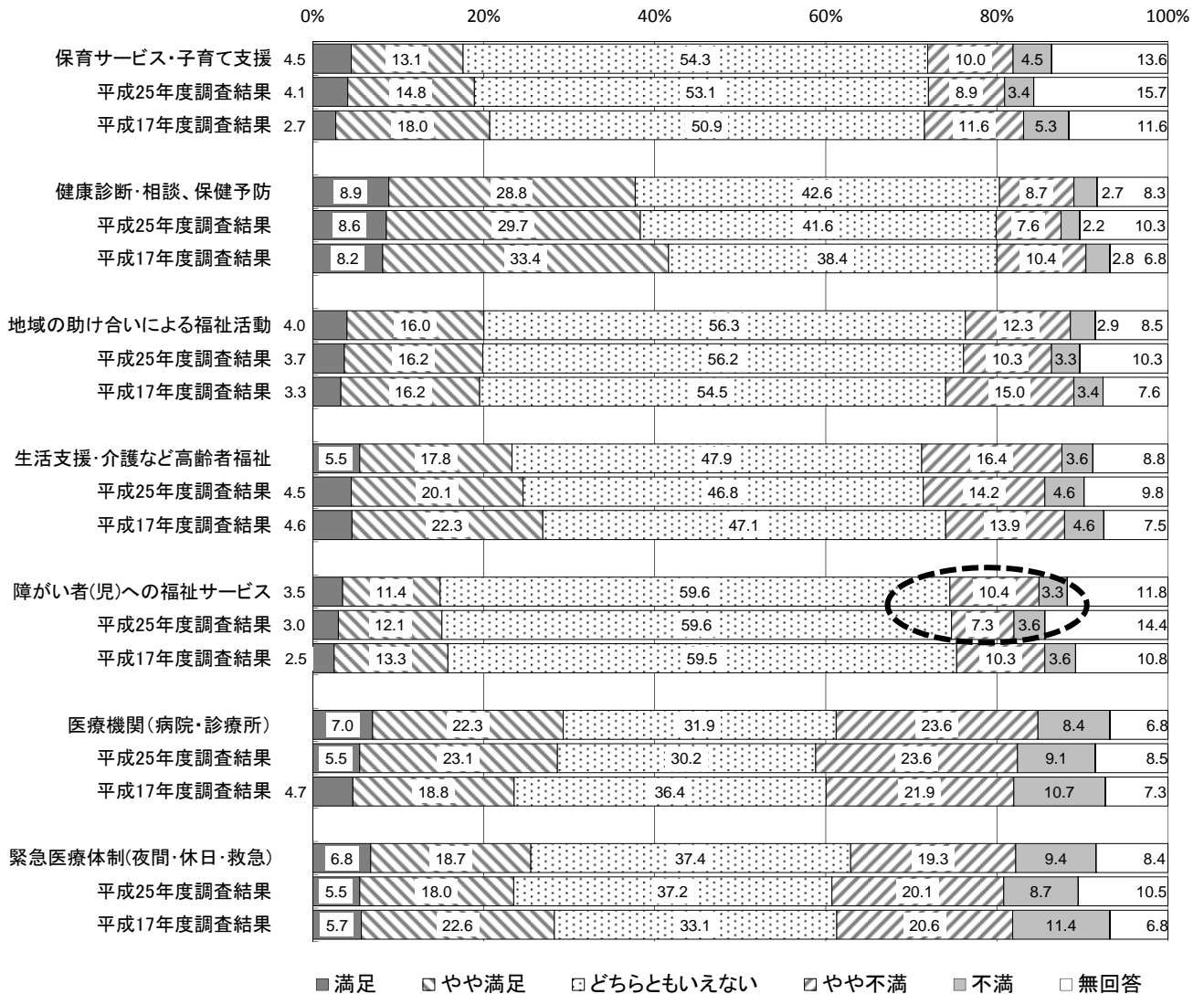
### 3 分野別施策満足度の経年比較について

#### (1) 健康福祉分野

健康福祉分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「障がい者（児）への福祉サービス」で2.8ポイントとやや上昇しています。

図3-1 健康福祉分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



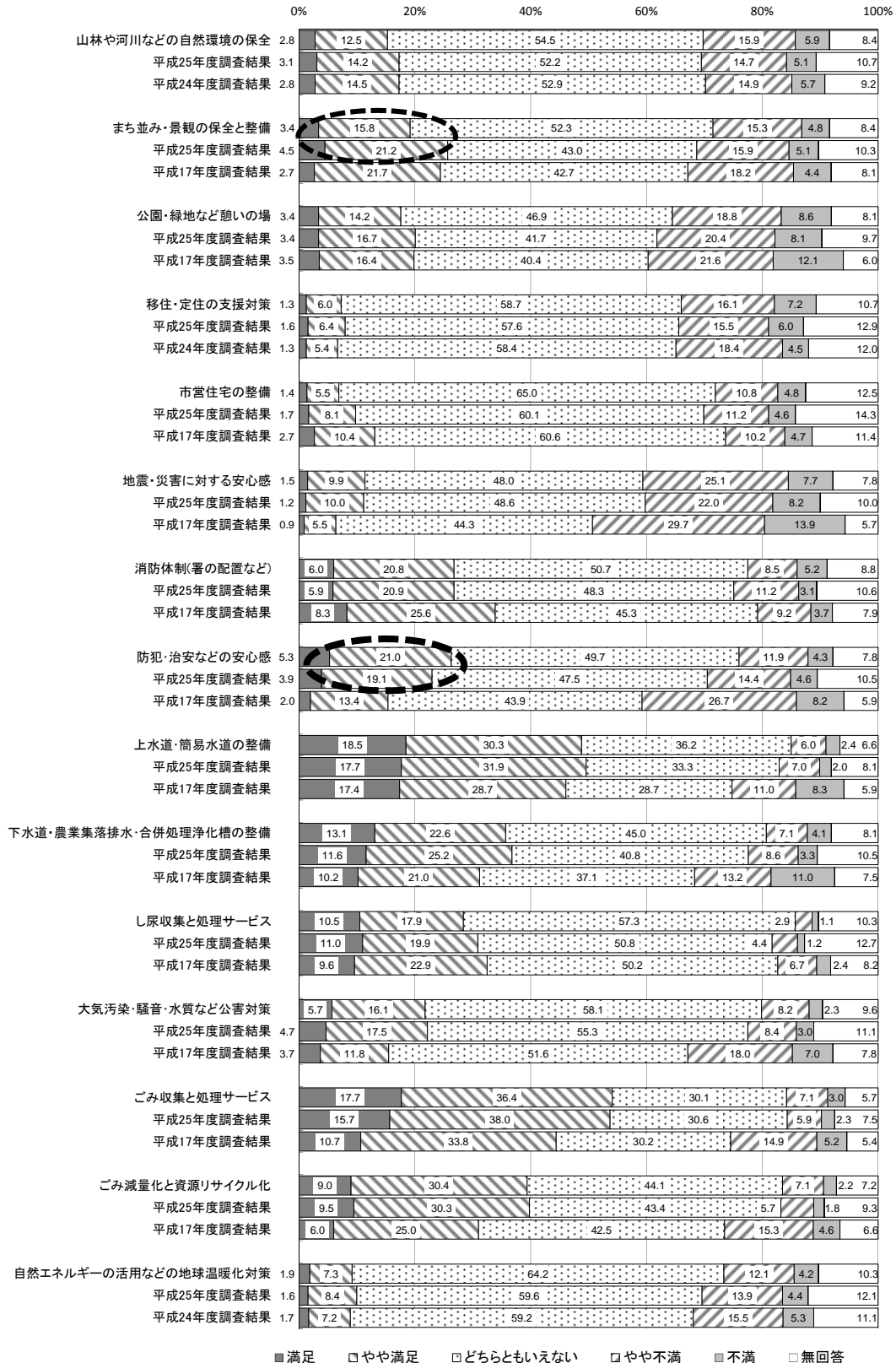


## (2) 生活環境分野

生活環境分野の満足度を前年度と比較すると、「防犯・治安などの安心感」で3.3ポイント上昇し、「まち並み・景観の保全と整備」で6.5ポイント低下しています。不満度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありません。

図3-2 生活環境分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

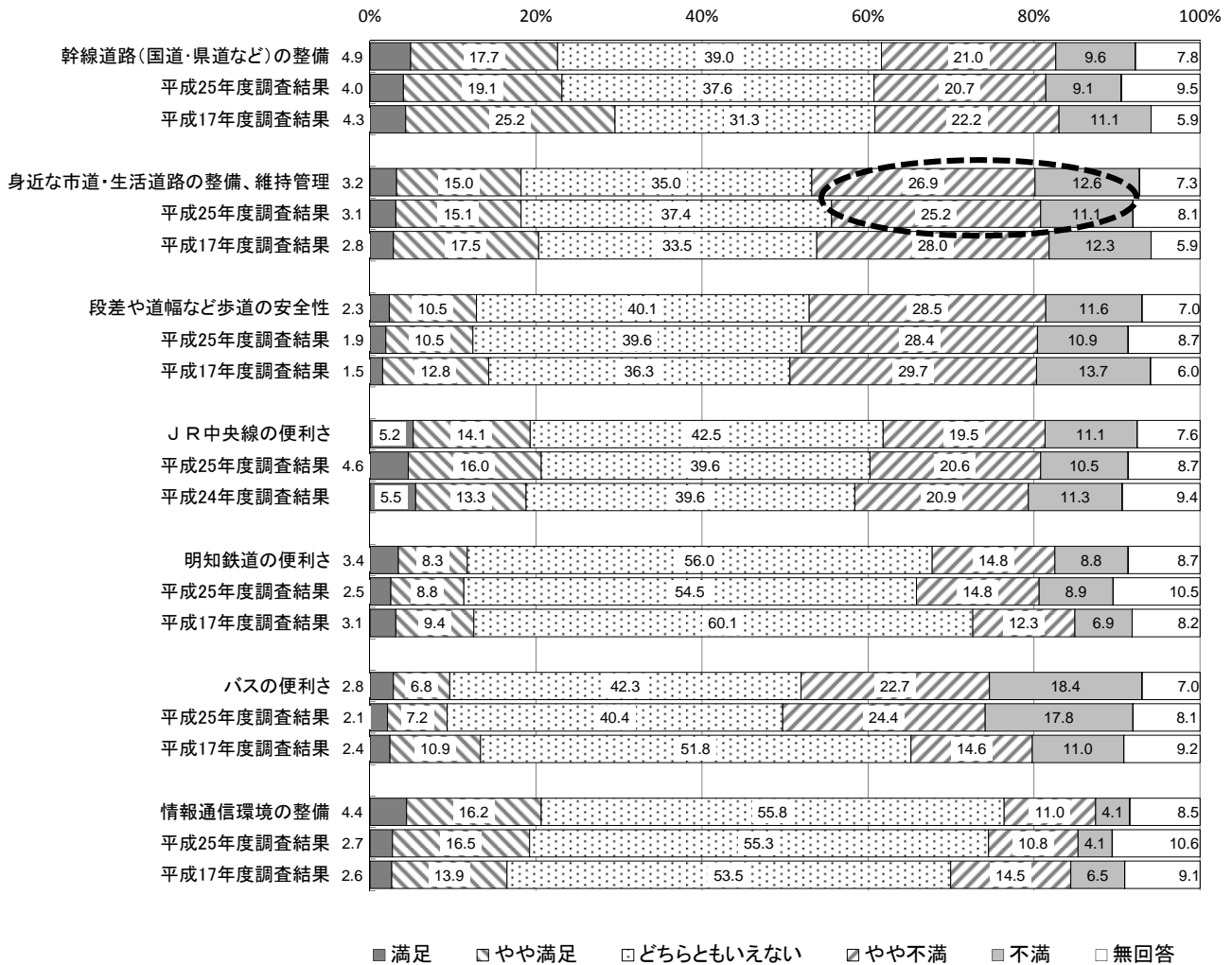


### (3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」で3.2ポイント上昇しています。

図3-3 都市・交流基盤分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)

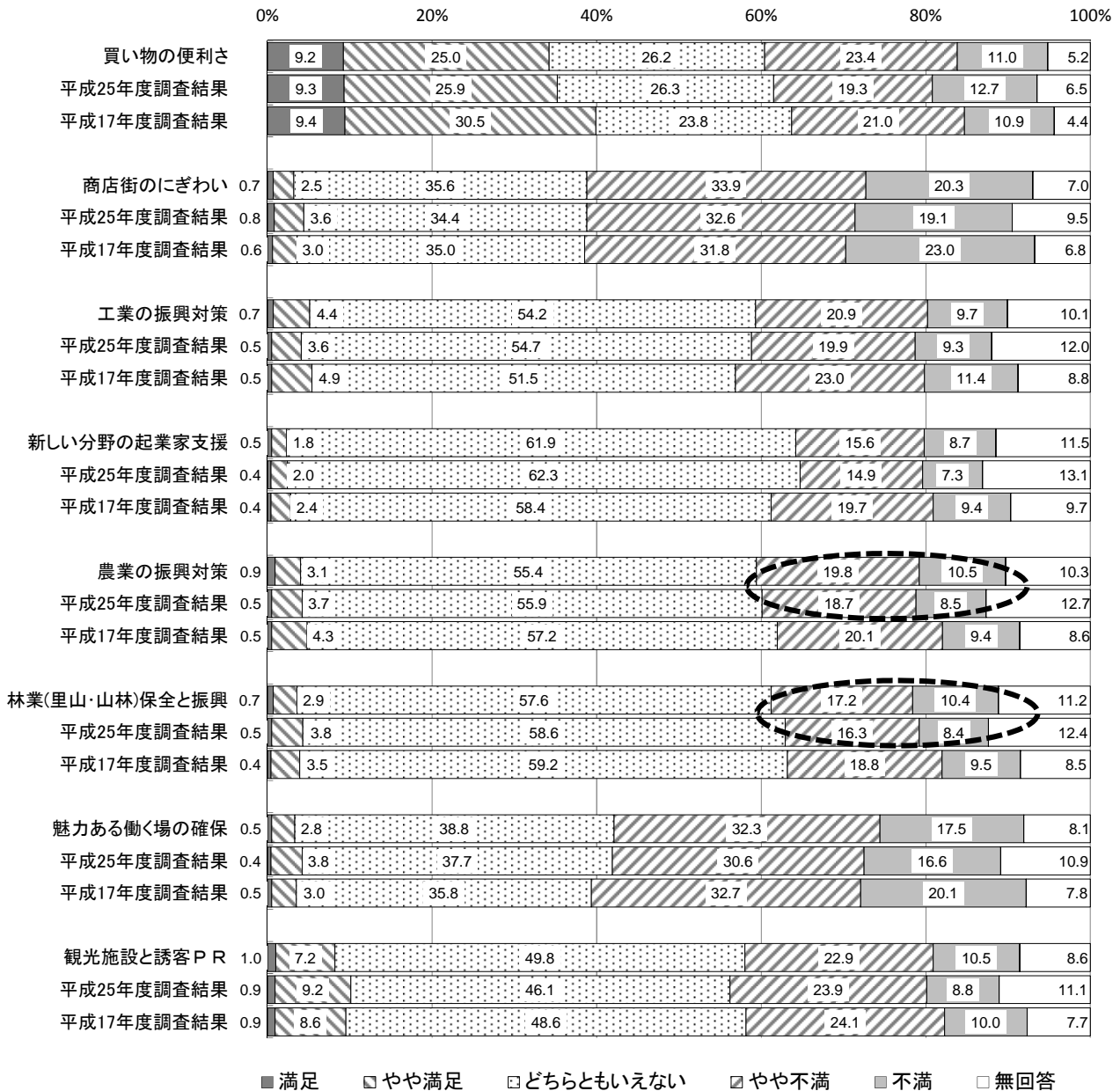


#### (4) 産業振興分野

産業振興分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「農業の振興対策」で3.1ポイントと上昇し、「林業（里山・山林）の保全と振興」で2.9ポイントとやや上昇しています。

図3-4 産業振興分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)

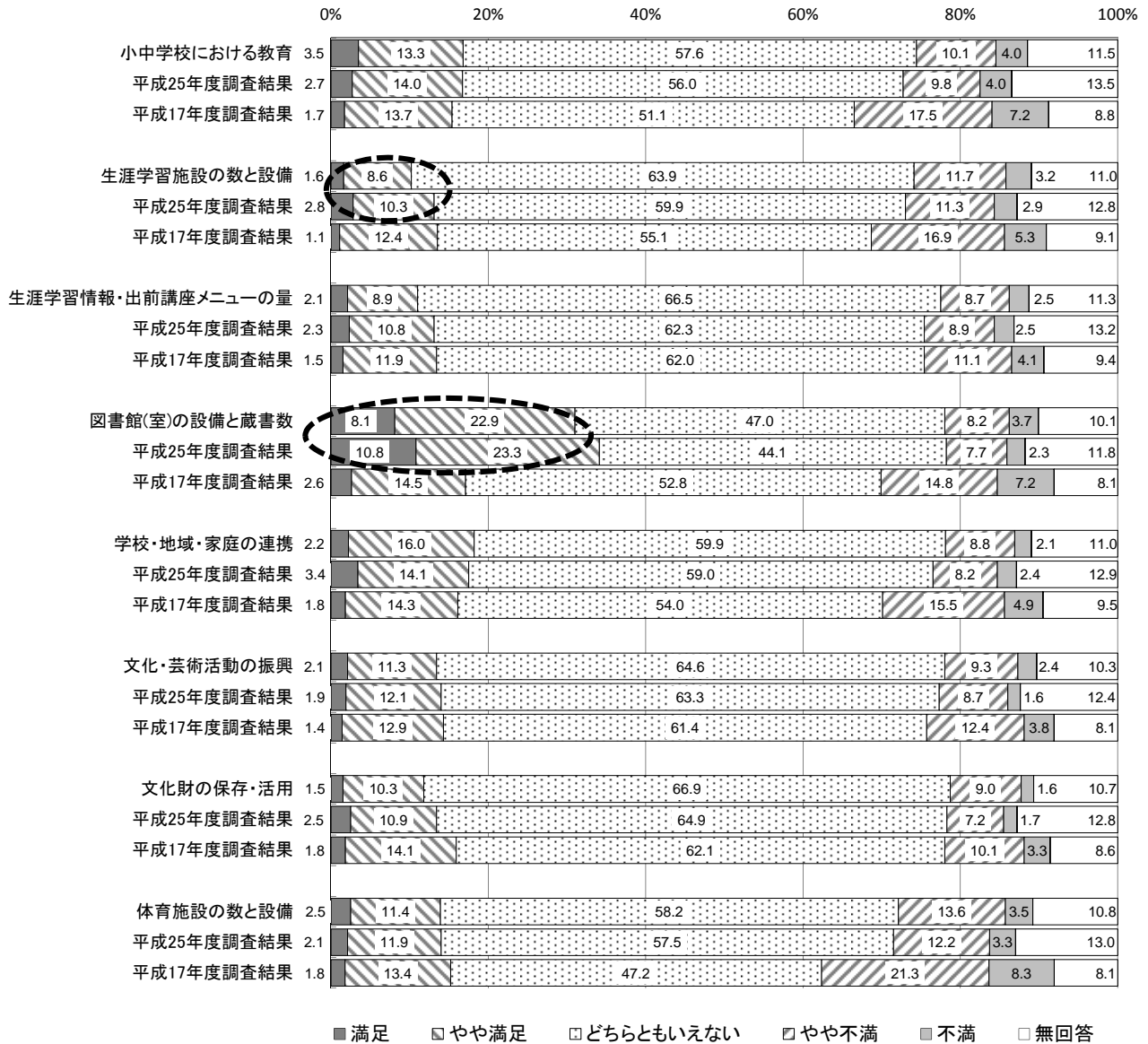


## (5) 教育・文化分野

教育・文化分野の満足度を前年度と比較すると、「図書館（室）の整備と蔵書数」が3.1ポイントと低下し、「生涯学習施設の数と設備」が2.9ポイントとやや低下しています。また、不満度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。

図3-5 教育・文化分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)

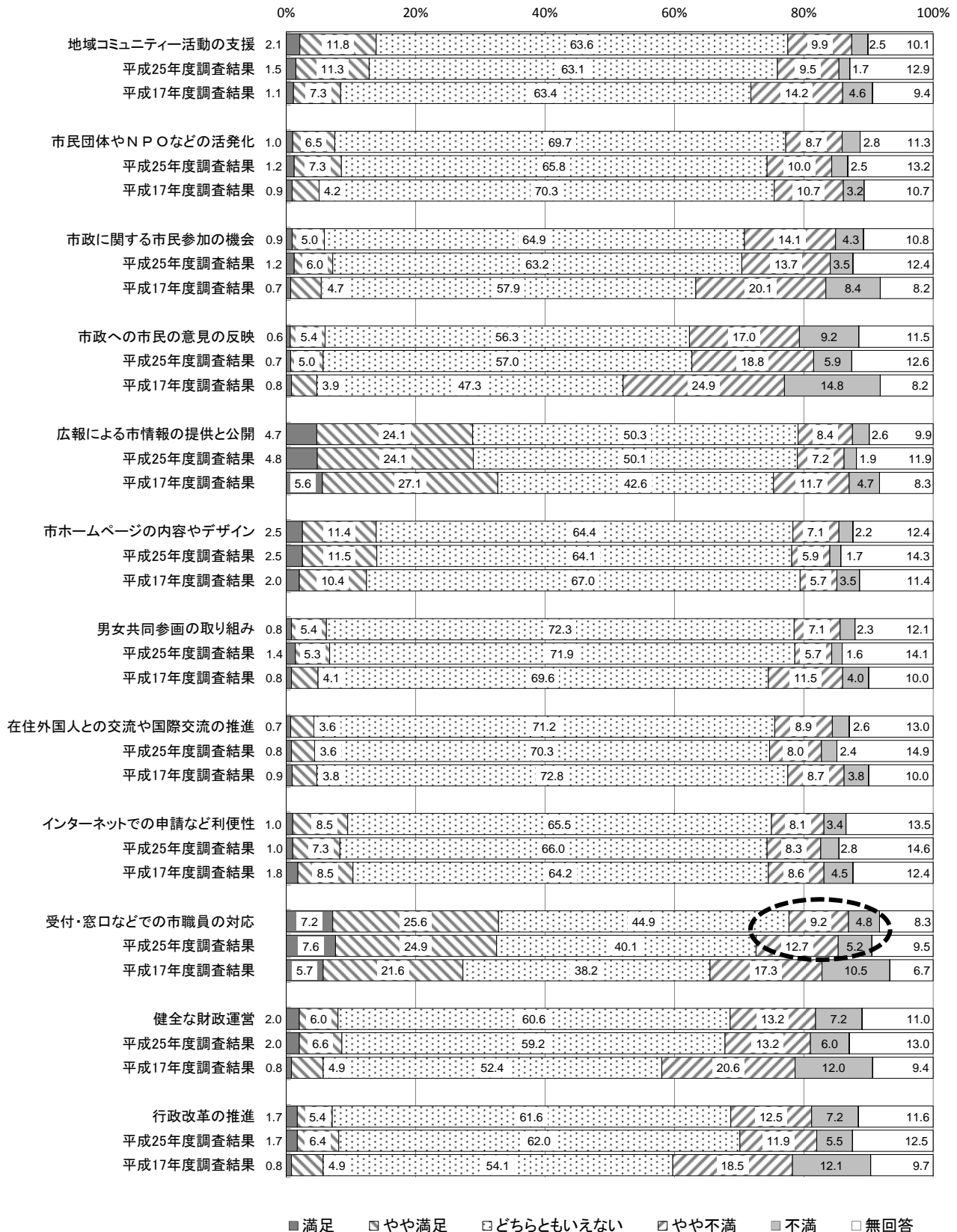


## (6) 住民参画分野

住民参画分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「受付・窓口などでの市職員の対応」で3.9ポイント低下しています。

図3-6 住民参画分野（満足度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



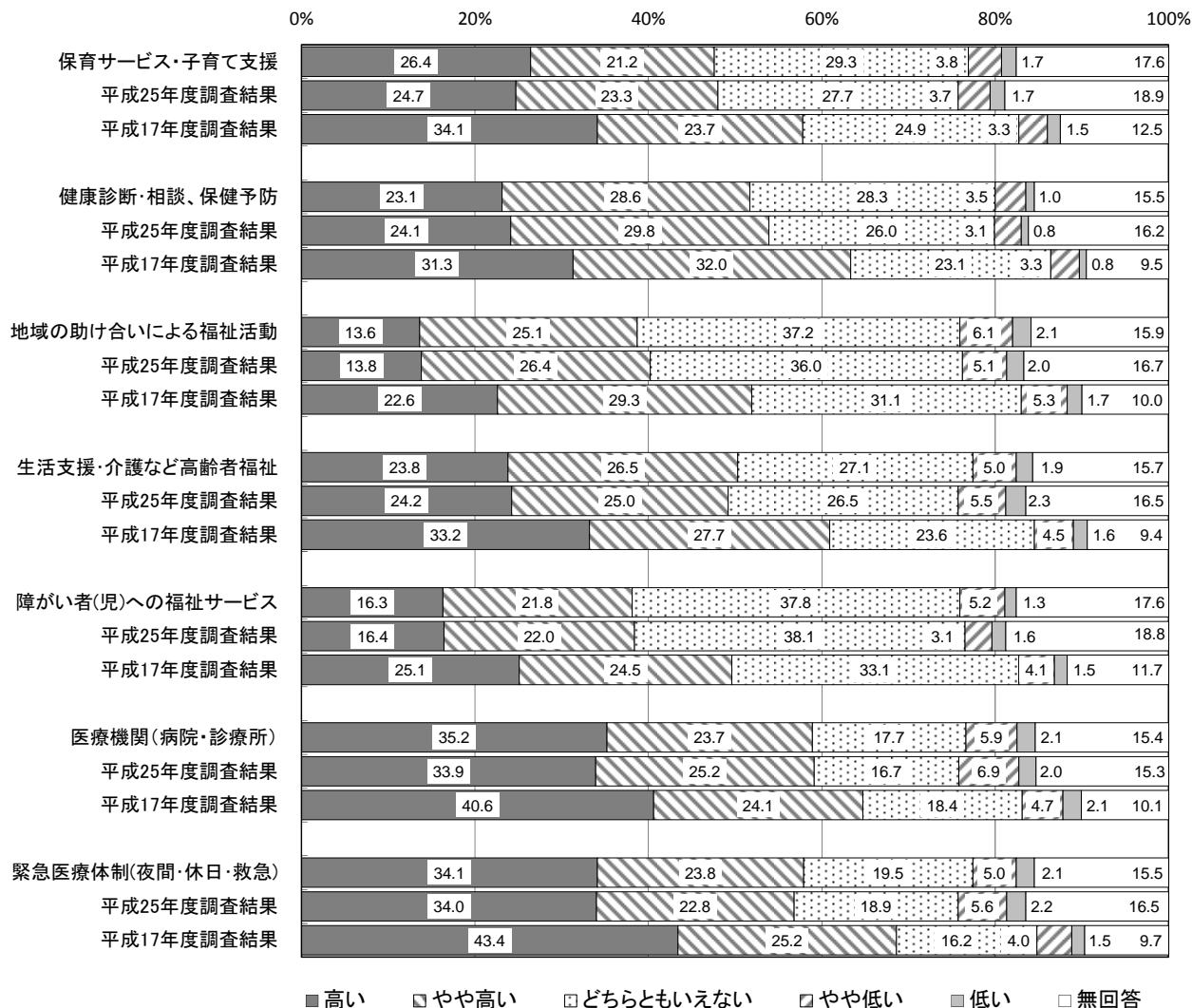
## 4 分野別施策重要度の経年比較について

### (1) 健康福祉分野

健康福祉分野の重要度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。

図4-1 健康福祉分野（重要度の経年比較、単数回答）

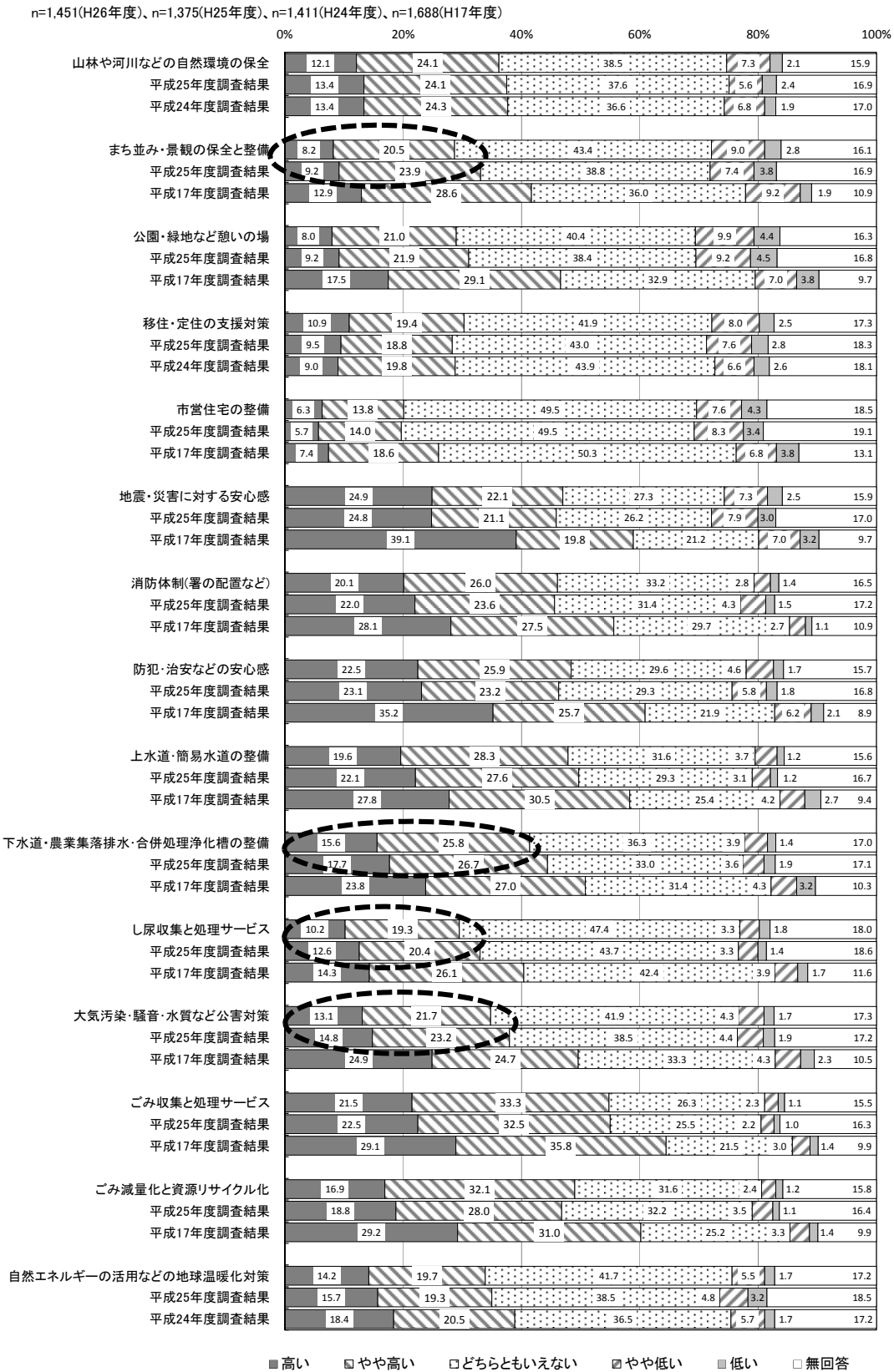
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



## (2) 生活環境分野

生活環境分野の重要度を前年度と比較すると、「まちなみ・景観の保全と整備」で4.4ポイント、「し尿収集と処理サービス」で3.5ポイント、「大気汚染・騒音・水質などの公害対策」で3.2ポイント、「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」で3.0ポイント低下しています。

図4-2 生活環境分野（重要度の経年比較、単数回答）

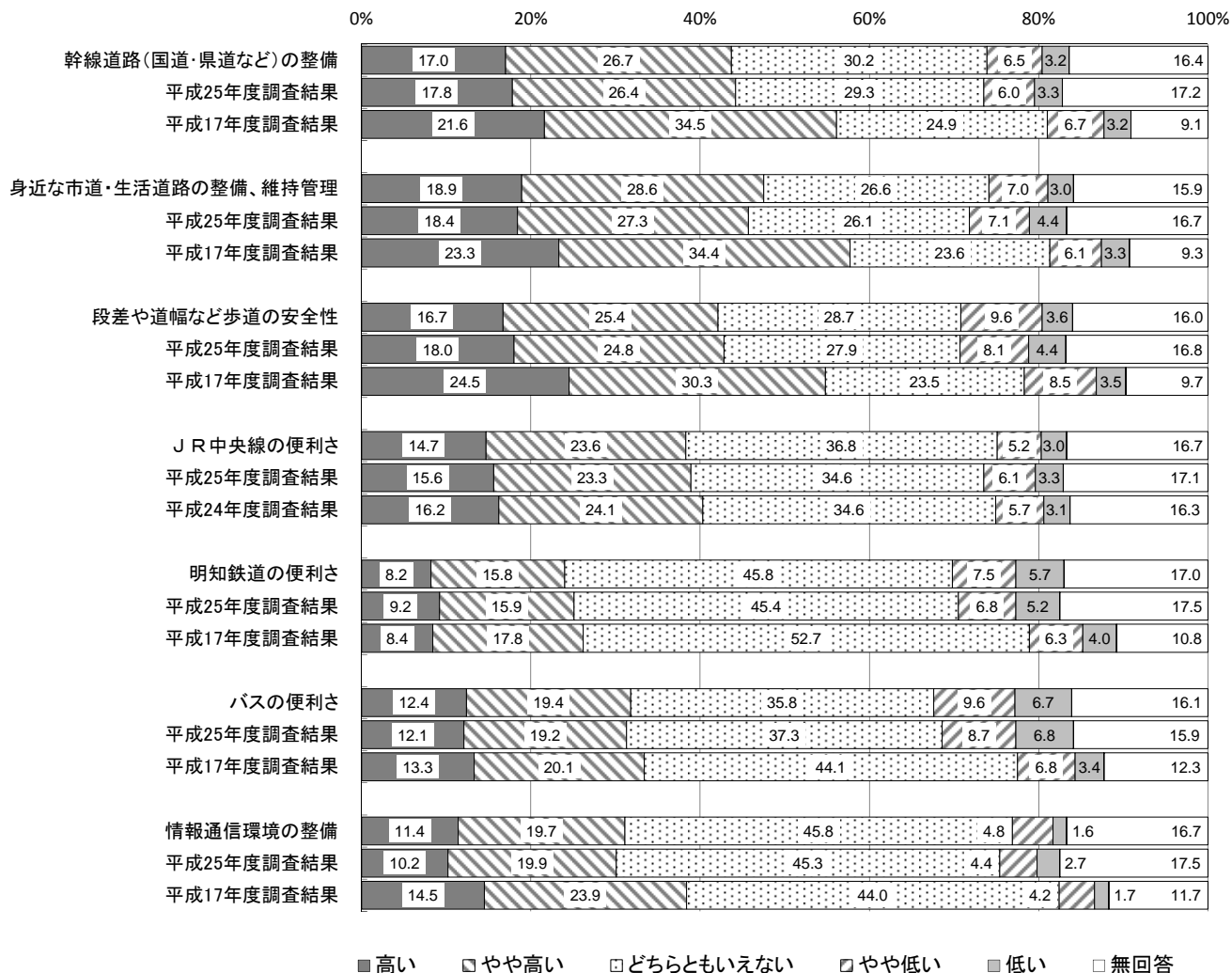


### (3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の重要度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。

図4-3 都市・交流基盤分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



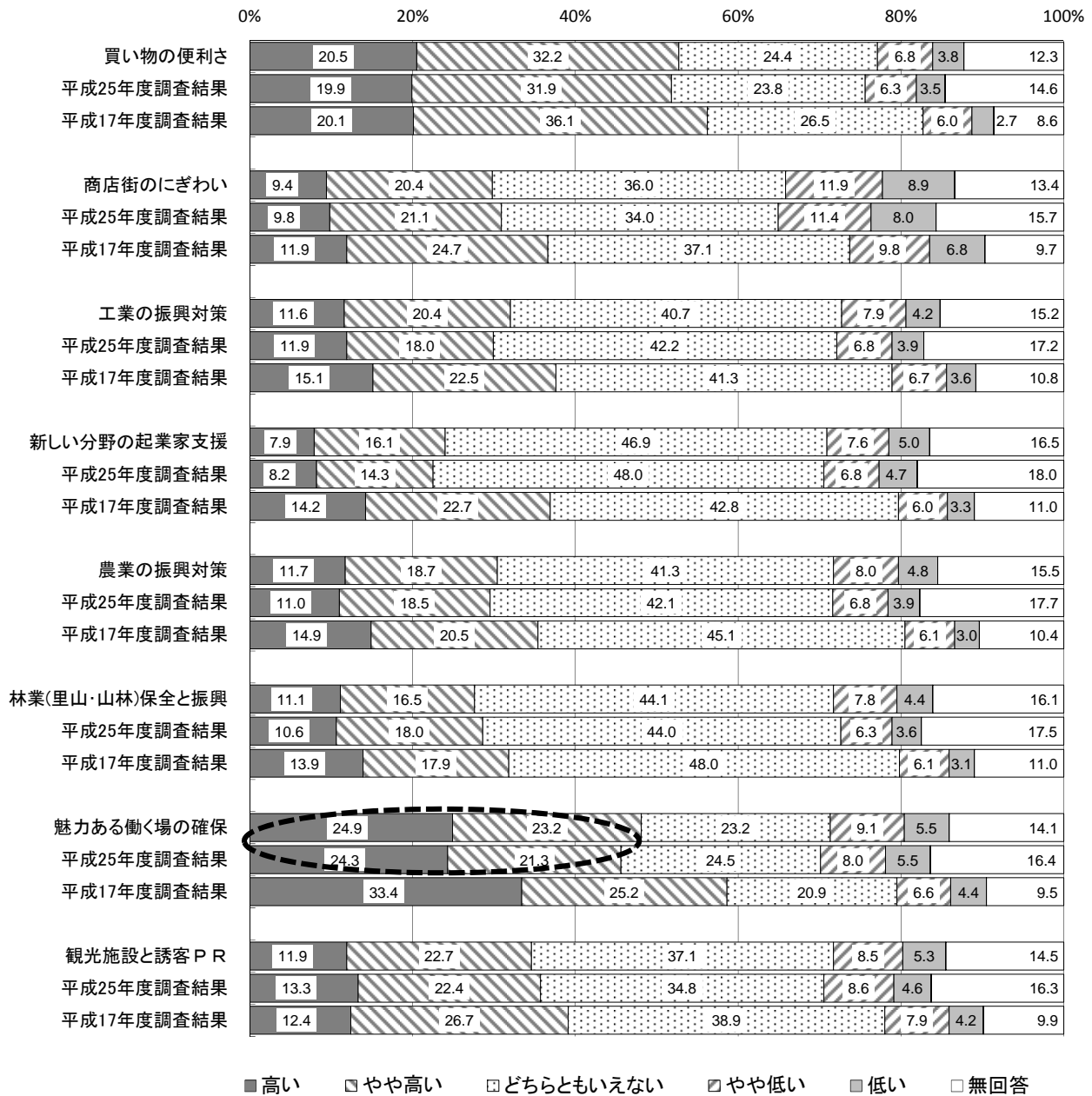


#### (4) 産業振興分野

産業振興分野の重要度を前年度と比較すると、「魅力ある働く場の確保」で2.5ポイントとやや上昇しています。

図4-4 産業振興分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)

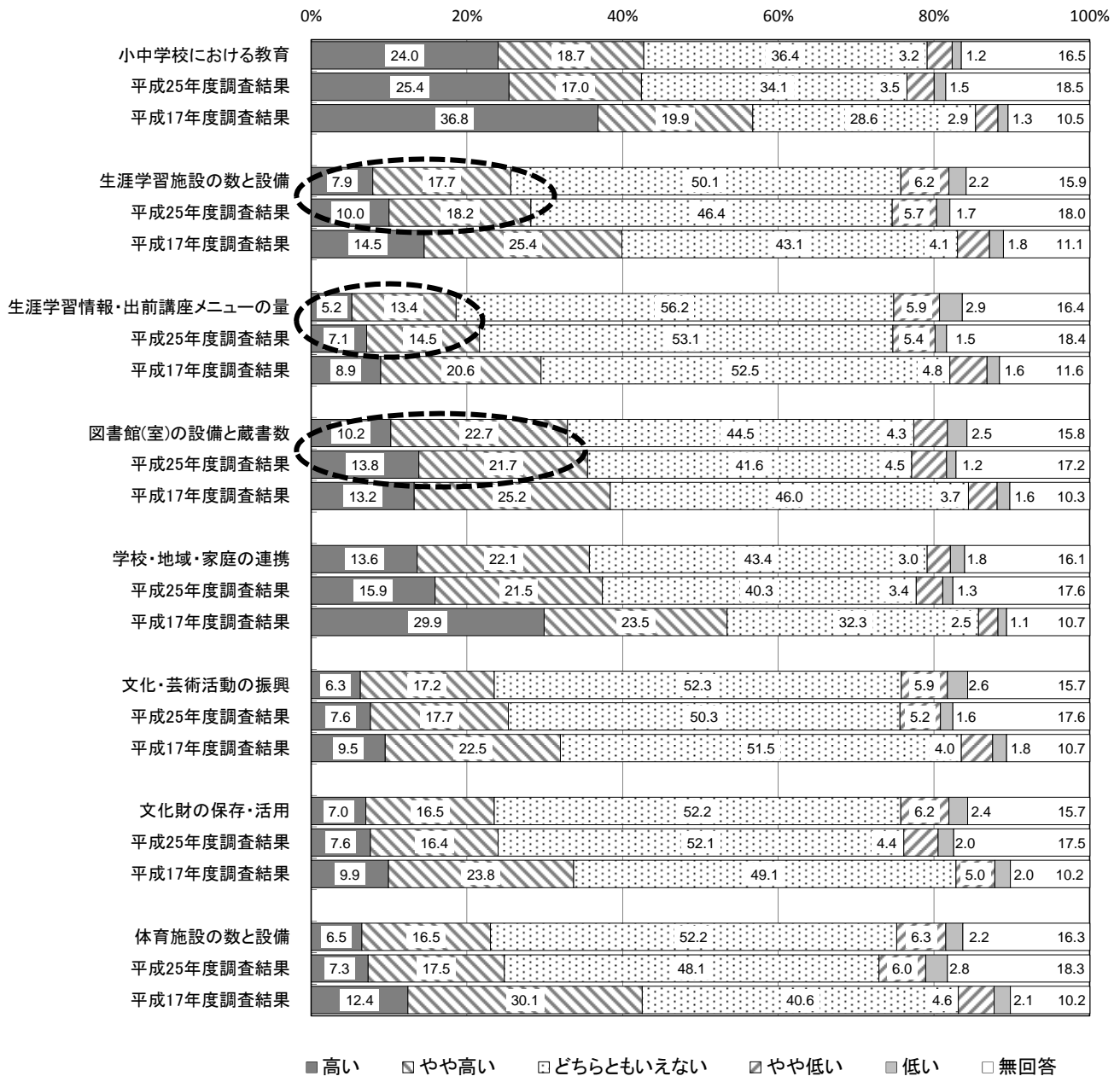


## (5) 教育・文化分野

教育・文化分野の重要度を前年度と比較すると、「生涯学習情報・出前講座のメニューの量」で3.0ポイントと低下し、「生涯学習施設の数と設備」と「図書館(室)の設備と蔵書数」で2.6ポイントとやや低下しています。

図4-5 教育・文化分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)

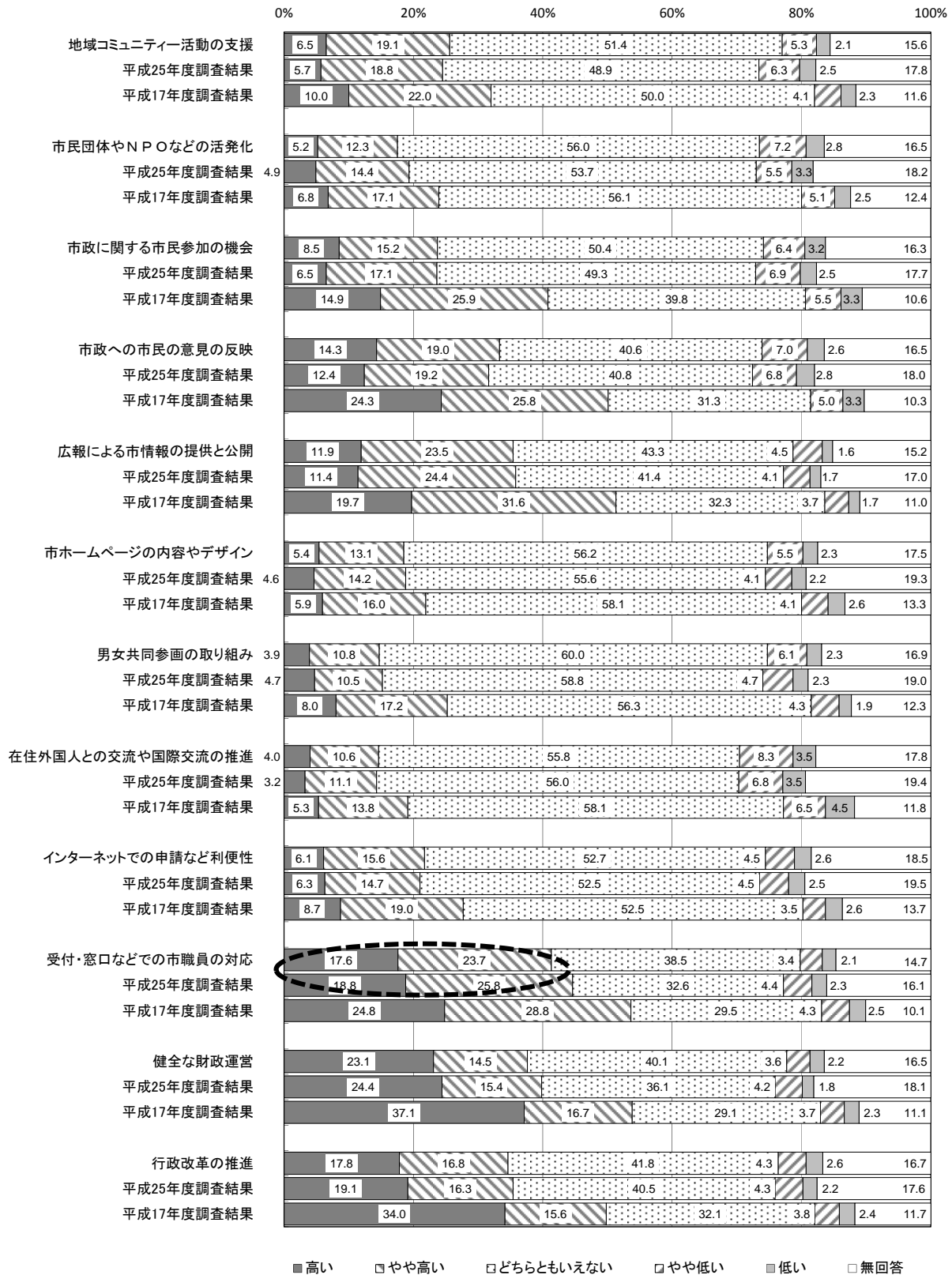


## (6) 住民参画分野

住民参画分野の重要度を前年度と比較すると、「受付・窓口などでの市職員の対応」で3.3ポイント低下しています。

図4-6 住民参画分野（重要度の経年比較、単数回答）

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



## 5 求められるまちづくりの方向性について

### (1) 満足度・不満度・重要度の上位10項目

満足度の高い施策では、上位10項目のうち、「ごみの収集と処理サービス」と「受付・窓口などでの市職員の対応」「医療機関（病院・診療所）」の3項目で前回調査時より満足度が高まっていますが、ほかの7項目で満足度が低くなっています。

不満度の高い施策では、上位12項目（10位が同じ割合で3項目のため）のうち「バスの便利さ」と「医療機関（病院・診療所）」「JR中央線の便利さ」の3項目で前回調査時より不満度が低くなっていますが、ほかの9項目で不満度が高くなっています。

重要度の高い施策では、上位10項目のうち、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」「買い物の便利さ」など6項目で重要度が高まっています。前回上位10項目より下位だった「魅力ある働く場の確保」が今回は上位10項目に入り、「保育サービス・子育て支援」（前回8位）が上位10項目には入りませんでした。

表5-1 満足度・不満度・重要度の上位10項目 n=1,451

順位	満足度の高い施策	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	54.1【↑】	53.7(1)
2	上水道・簡易水道の整備	48.8【↓】	49.6(2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.4【↓】	39.8(3)
4	健康診断・相談、保健予防	37.7【↓】	38.3(4)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.7【↓】	36.8(5)
6	買い物の便利さ	34.2【↓】	35.2(6)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	32.8【↑】	32.5(8)
8	図書館(室)の設備と蔵書数	31.0【↓】	34.1(7)
9	医療機関(病院・診療所)	29.3【↑】	28.6(11)
10	広報による市情報の提供と公開	28.8【↓】	28.9(10)

順位	不満度の高い施策	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	54.2【↑】	51.7(1)
2	魅力ある働く場の確保	49.8【↑】	47.2(2)
3	バスの便利さ	41.1【↓】	42.2(3)
4	段差や道幅など歩道の安全性	40.1【↑】	39.3(4)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	39.5【↑】	36.3(5)
6	買い物の便利さ	34.4【↑】	32.0(8)
7	観光施設と誘客PR	33.4【↑】	32.7(6)
8	地震・災害に対する安心感	32.8【↑】	30.2(10)
9	医療機関(病院・診療所)	32.0【↓】	32.7(6)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	30.6【↑】	29.8(11)
10	JR中央線の便利さ	30.6【↓】	31.1(9)
10	工業の振興対策	30.6【↑】	29.2(12)

順位	重要度の高い施策	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	58.9【↓】	59.1(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	57.9【↑】	56.8(2)
3	ごみ収集と処理サービス	54.8【↓】	55.0(3)
4	買い物の便利さ	52.7【↑】	51.8(5)
5	健康診断・相談、保健予防	51.7【↓】	53.9(4)
6	生活支援・介護など高齢者福祉	50.3【↑】	49.2(7)
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	49.0【↑】	46.8(9)
8	防犯・治安などの安心感	48.4【↑】	46.3(10)
9	魅力ある働く場の確保	48.1【↑】	45.6(13)
10	上水道・簡易水道の整備	47.9【↓】	49.7(6)

※今回調査結果の【】内は、前回調査時からのポイントの上下を指す。

※前回調査結果の( )内は、前回順位を指す。

## (2) 全施策マトリックス図

全57施策について、満足度、重要度ともに5段階評価での回答を得ました。下記の方法で回答を点数化し、施策の評価を行います。

### 【評価手順】

ア. 5段階の評価点を次表のように決めます。

①満足度	
満足	+2点
やや満足	+1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点
回答なし	0点

②重要度	
高い	+2点
やや高い	+1点
どちらともいえない	0点
やや低い	-1点
低い	-2点
回答なし	0点

イ. 評価指数を次の式により算出します。

(満足度)

評価指数 = (2点) × 「満足」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや満足」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや不満」の回答者数の割合 + (-2点) × 「不満」の回答者数の割合

(重要度)

評価指数 = (2点) × 「高い」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや高い」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや低い」の回答者数の割合 + (-2点) × 「低い」の回答者数の割合

ウ. 全57施策の満足度及び重要度を指数化し、分布させた2軸のマトリックスを用います。

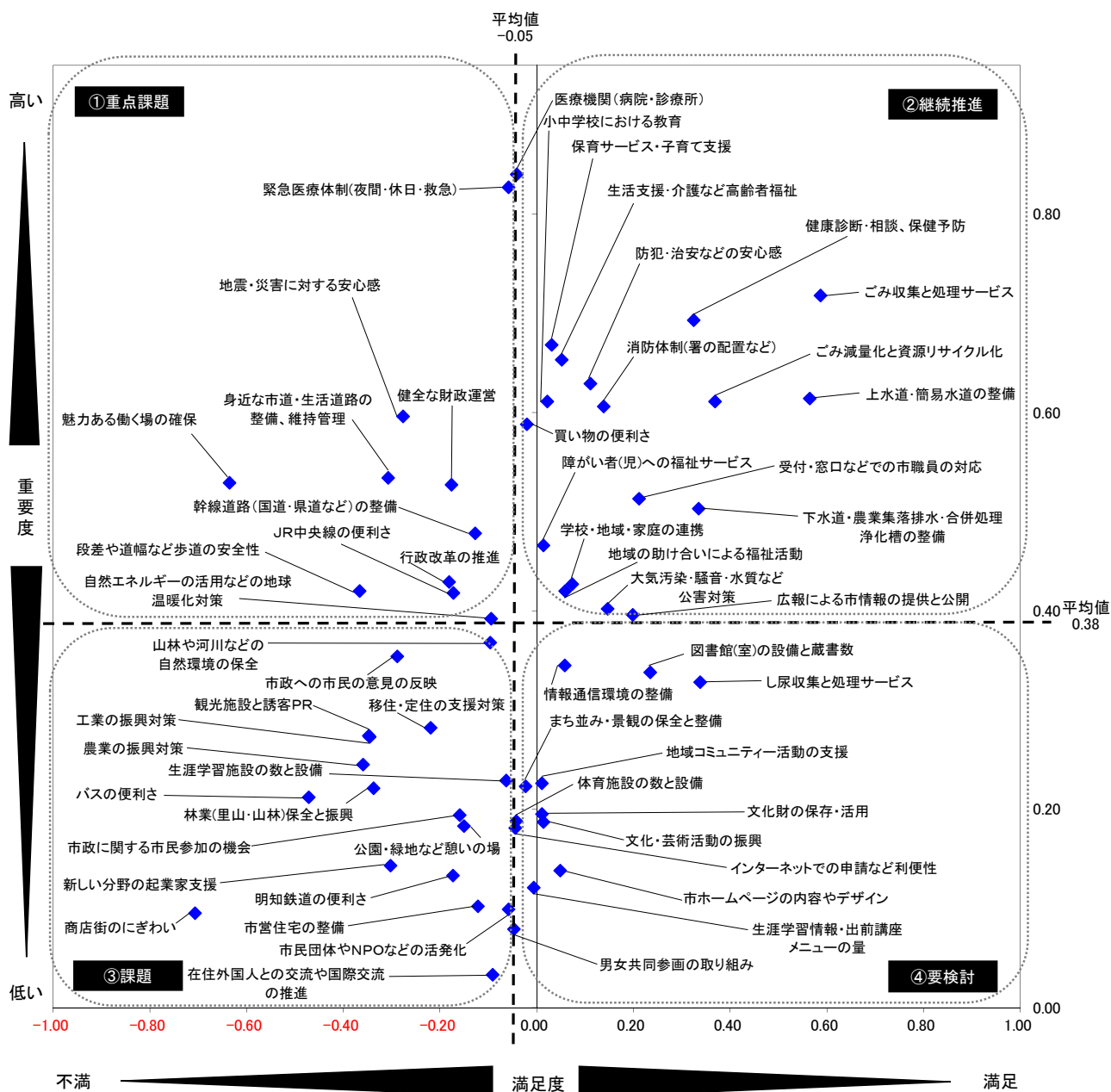
満足度指数及び重要度指数の平均値で区分される「①重点課題」「②継続推進」「③課題」「④要検討」の4つの領域のどこに分布しているかで、各施策の評価を行います。

区分	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する

全57施策の満足度指数の平均は「-0.05」、重要度指数の平均は「0.38」です。

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、健康福祉分野の「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」、「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」、都市・交通基盤分野の「幹線道路(国道・県道など)の整備」、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、「段差や道幅など歩道の安全性」、「JR中央線の便利さ」、産業振興分野の「魅力ある働く場の確保」、市民参画分野の「健全な財政運営」、「行政改革の推進」の10項目です。これらは全て、前回調査時の『重点課題』12項目にあった施策であり、満足度の向上につながるよう、今後も重点的な取り組みの推進が求められています。

図5-1 全57施策マトリックス図



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	10	18	17	12

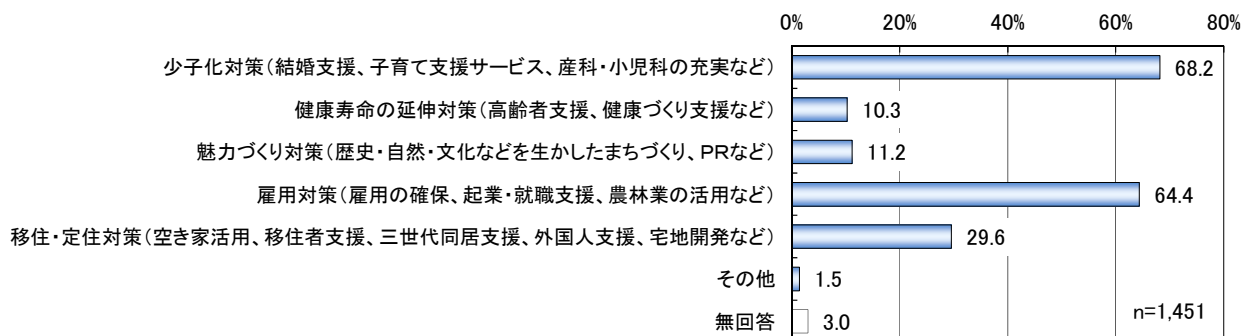
## 6 個別施策について

### (1) 人口減少対策について

【問10】 恵那市の人口減少を食い止めるためには何が必要だと思いますか？ 〈複数回答：2つまで〉

「少子化対策（結婚支援、子育て支援サービス、産科・小児科の充実など）」が68.2%と最も高く、次いで「雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、農林業の活用など）」が64.4%、「移住・定住対策（空き家活用、移住者支援、三世帯同居支援、外国人支援、宅地開発など）」が29.6%の順となっています。

図6-1 人口減少対策に必要なこと 〈複数回答：2つまで〉



### (2) 健康づくりについて

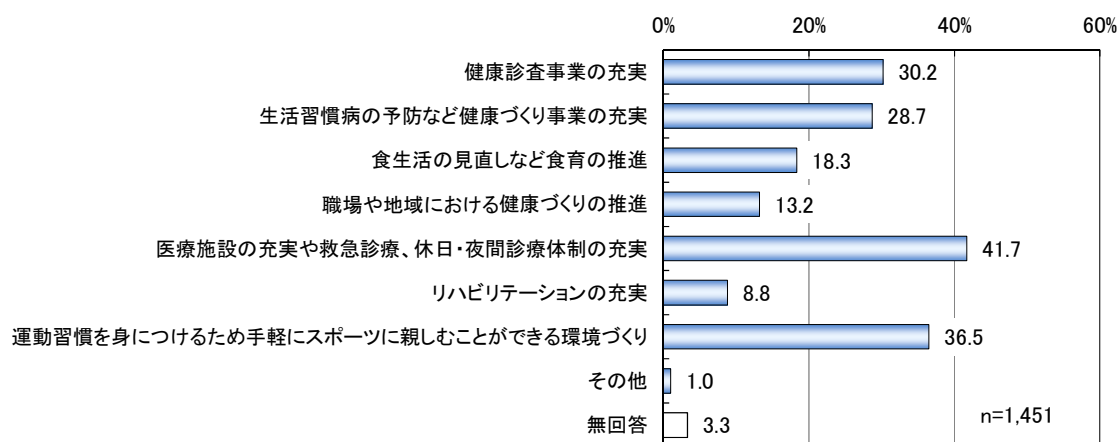
#### ① 健康づくりに必要なこと

【問11】 健康づくりの充実を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか？

〈複数回答：2つまで〉

「医療施設の充実や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が41.7%と最も高く、次いで「運動習慣を身につけるため手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」が36.5%、「健康診査事業の充実」が30.2%、「生活習慣病の予防など健康づくり事業の充実」が28.7%の順となっています。

図6-2 健康づくりに必要なこと 〈複数回答：2つまで〉



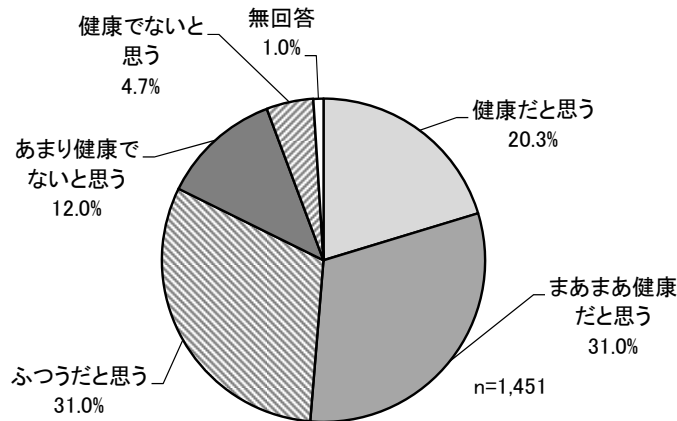
## ② 現在の健康状態

【問 1 2】 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

〈単数回答〉

「健康だと思う」が20.3%、「まあまあ健康だと思う」が31.0%で、合わせて健康だと思う人が約5割を占めています。一方、「あまり健康でないと思う」が12.0%、「健康でないと思う」が4.7%で、合わせて健康でないと思う人が約17%です。

図6-3 現在の健康状態



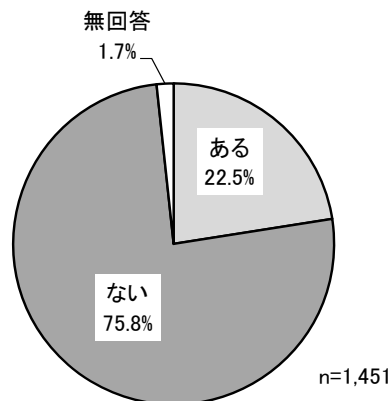
## ③ 健康上の問題による日常生活への影響の有無

【問 1 3】 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

〈単数回答〉

健康上の問題で日常生活に影響が「ある」が22.5%、「ない」が75.8%です。

図6-4 健康上の問題による日常生活への影響の有無



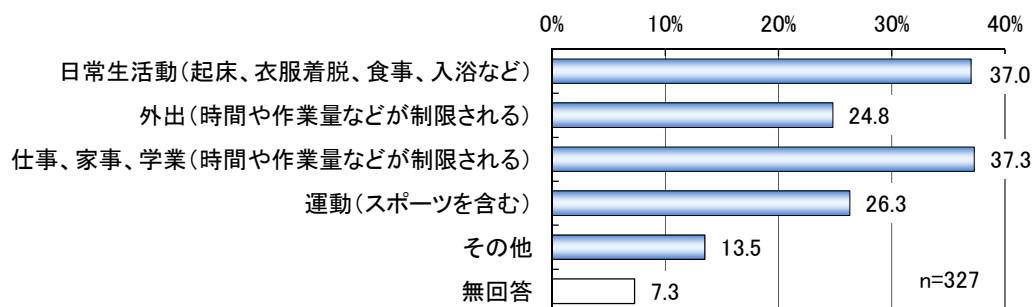


#### ④ 日常生活に影響する内容

【問14】問13で1を選択した方にお聞きます。それほどどのようなことに影響がありますか。  
 (複数回答：該当するものすべて)

「仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)」が37.3%、「日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など)」が37.0%とほぼ並んでいます。次いで、「運動(スポーツを含む)」が26.3%、「外出(時間や作業量などが制限される)」が24.8%となっています。

図6-5 日常生活に影響する内容(複数回答：いくつでも)

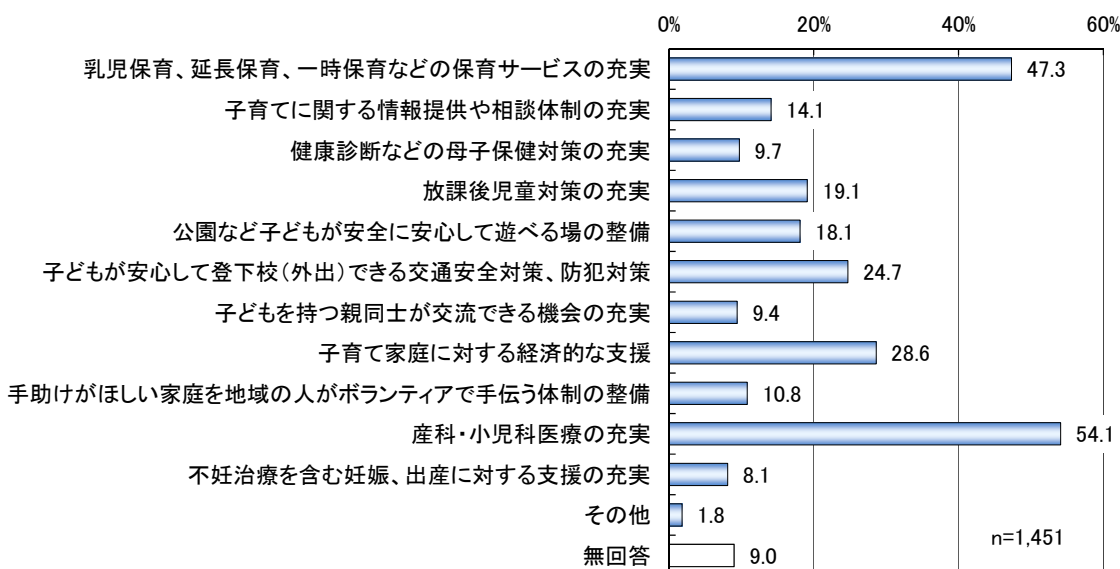


#### (3) 子育てについて

【問15】安心して子どもを生み育てるためには何が必要だと思いますか？ (複数回答：3つまで)

「産科・小児科医療の充実」が54.1%と最も高く、次いで「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が47.3%、「子育て家庭に対する経済的な支援」が28.6%の順となっています。

図6-6 安心な子育てに必要なこと(複数回答：3つまで)



#### (4) 生活環境について

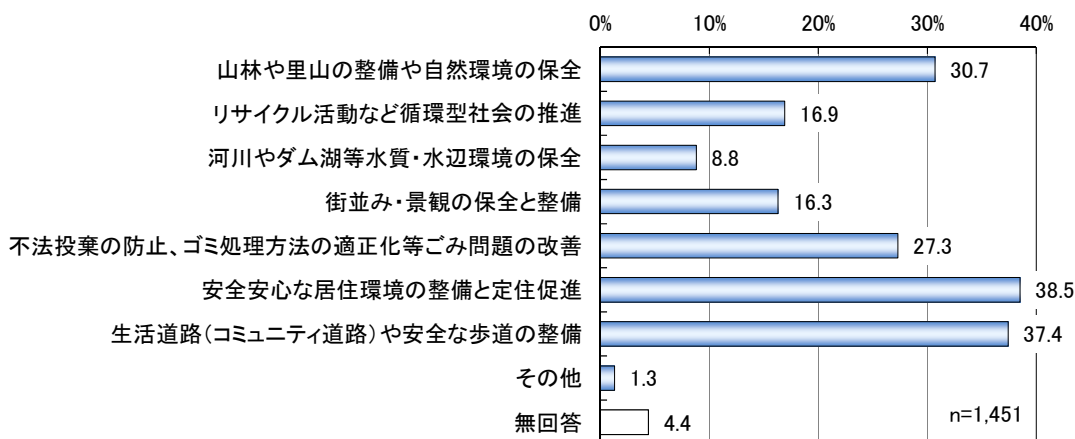
##### ① 快適な生活環境に必要なこと

【問16】市の生活環境を快適なものにするためには何を行うことが必要だと思いますか？

〈複数回答：2つまで〉

「安全安心な居住環境の整備と定住促進」が38.5%と最も高く、次いで「生活道路（コミュニティ道路）や安全な歩道の整備」が37.4%、「山林や里山の整備や自然環境の保全」が30.7%の順となっています。

図6-7 快適な生活環境に必要なこと 〈複数回答：2つまで〉



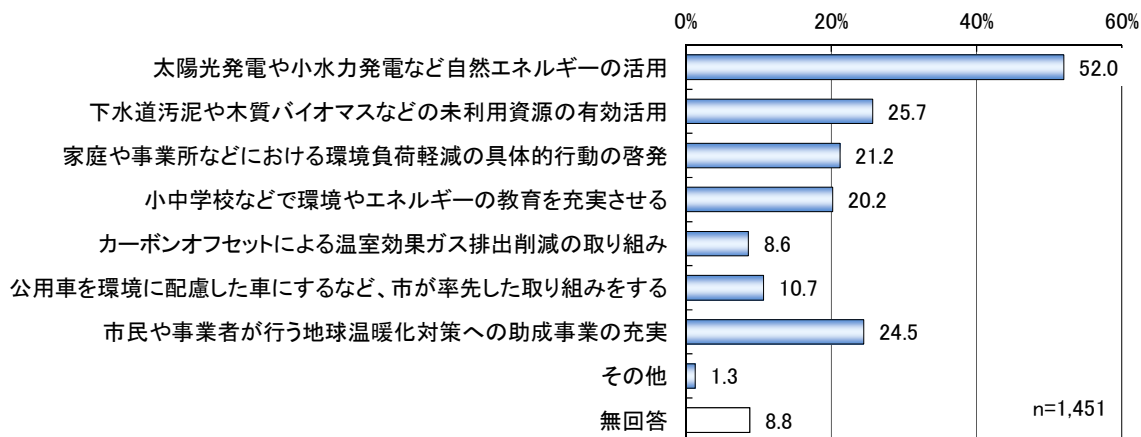
##### ② 取り組むべき地球温暖化対策

【問17】地球温暖化対策で、どのようなことに市が重点的に取り組むべきだと思いますか？

〈複数回答：2つまで〉

「太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用」が52.0%と最も高く、次いで「下水道汚泥や木質バイオマスなどの未利用資源の有効活用」が25.7%、「市民や事業者が行う地球温暖化対策への助成事業の充実」が24.5%の順となっています。

図6-8 取り組むべき地球温暖化対策 〈複数回答：2つまで〉



## (5) 防災・消防について

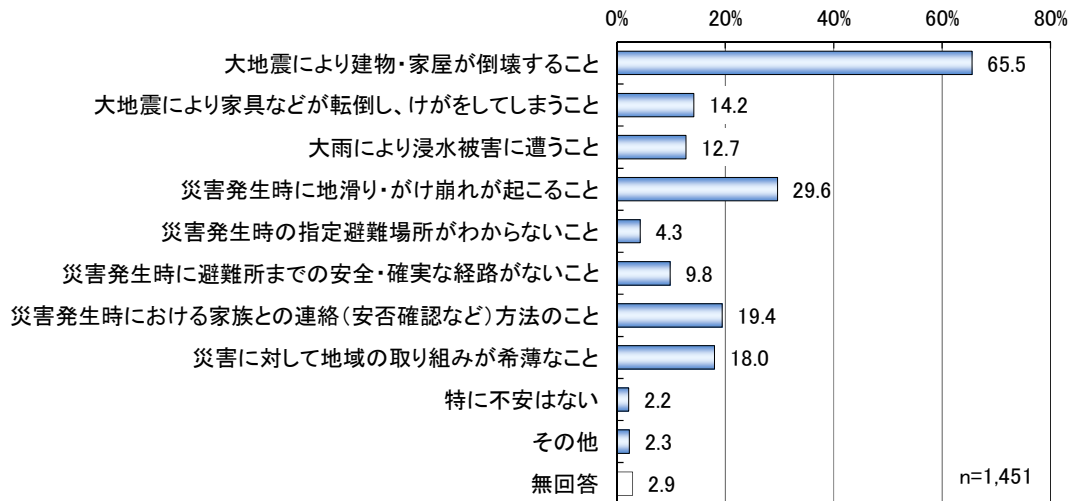
### ① 災害に対する不安内容

【問18】地震や大雨などの災害に対して、あなたが特に不安に思うことは何ですか？

〈複数回答：2つまで〉

「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が65.5%と最も高く、次いで「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」が29.6%、「災害発生時における家族との連絡（安否確認など）方法のこと」が19.4%、「災害に対しての地域の取り組みが希薄なこと」が18.0%の順となっています。一方、「特に不安はない」は2.2%とわずかです。

図6-9 災害に対する不安内容 〈複数回答：2つまで〉



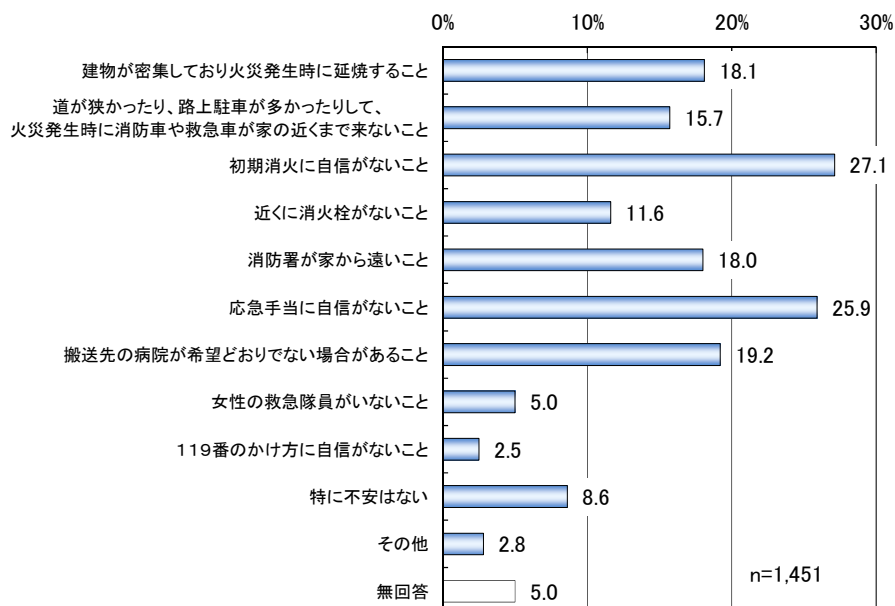
### ② 火災や救急に対する不安内容

【問19】火災や救急に対して不安に感じていることはありますか？

〈複数回答：2つまで〉

「初期消火に自信がないこと」が27.1%と最も高く、次いで「応急手当に自信がないこと」が25.9%、「搬送先の病院が希望どおりでない場合があること」が19.2%の順となっています。一方、「特に不安はない」は8.6%となっています。

図6-10 火災や救急に対する不安内容 〈複数回答：2つまで〉



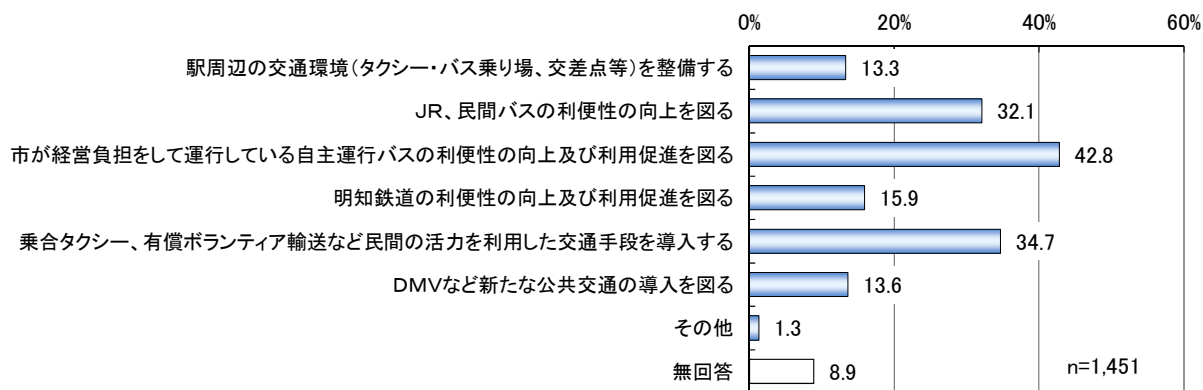
## (6) 公共交通について

【問20】あなたは今後、どのような公共交通サービスが充実されることを望みますか？

〈複数回答：2つまで〉

「市が経営負担をし、運行する自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が42.8%と最も高く、次いで「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など民間の活力を利用した交通手段を導入する」が34.7%、「JR、民間バスの利便性の向上を図る」が32.1%の順となっています。

図6-11 公共交通に望むこと 〈複数回答：2つまで〉



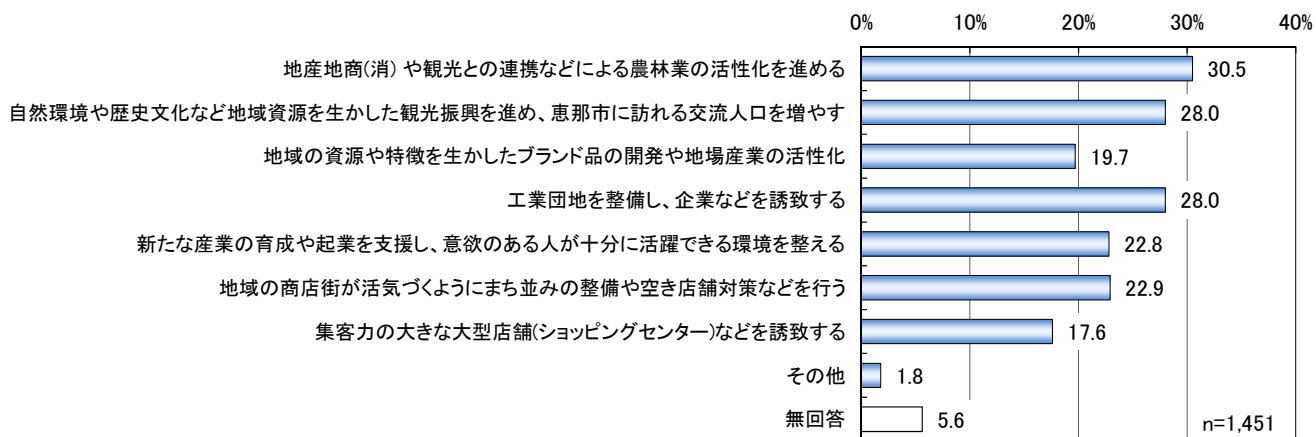
## (7) 産業振興について

【問21】「活力あるまち」にするために、どのような取り組みが重要だと思いますか？

〈複数回答：2つまで〉

「地産地商(消)や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」が30.5%と最も高く、次いで「自然環境や歴史文化など地域資源を生かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」と「工業団地を整備し、企業などを誘致する」が28.0%の順となっています。

図6-12 産業振興に必要なこと 〈複数回答：2つまで〉



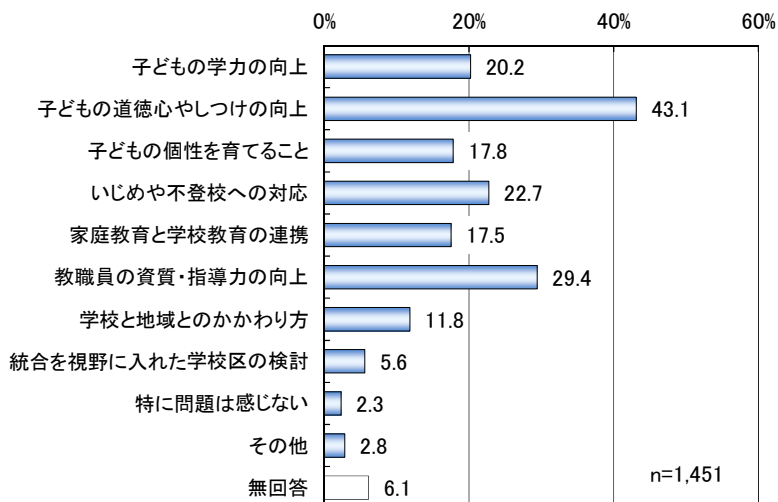
## (8) 学校教育について

【問 2 2】現在の小中学校教育を充実するために、どのようなことに力を入れるべきと思いますか？

〈複数回答：2つまで〉

「子どもの道徳心やしつけの向上」が43.1%と最も高く、次いで「教職員の資質・指導力の向上」が29.4%、「いじめや不登校への対応」が22.7%の順となっています。一方、「特に問題は感じない」は2.3%とわずかです。

図6-13 学校教育の充実に必要なこと 〈複数回答：2つまで〉



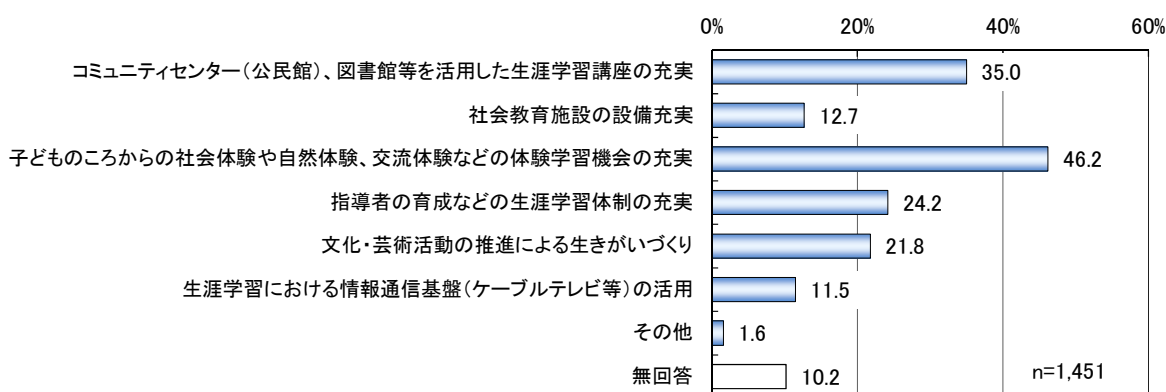
## (9) 生涯学習について

【問 2 3】生涯を通じた学習を充実させるために特に力を入れるべきことは何だと思えますか？

〈複数回答：2つまで〉

「子どものころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実」が46.2%と最も高く、次いで「コミュニティセンター（公民館）、図書館等を活用した生涯学習講座の充実」が35.0%、「指導者の育成などの生涯学習体制の充実」が24.2%の順となっています。

図6-14 生涯学習の充実に必要なこと 〈複数回答：2つまで〉



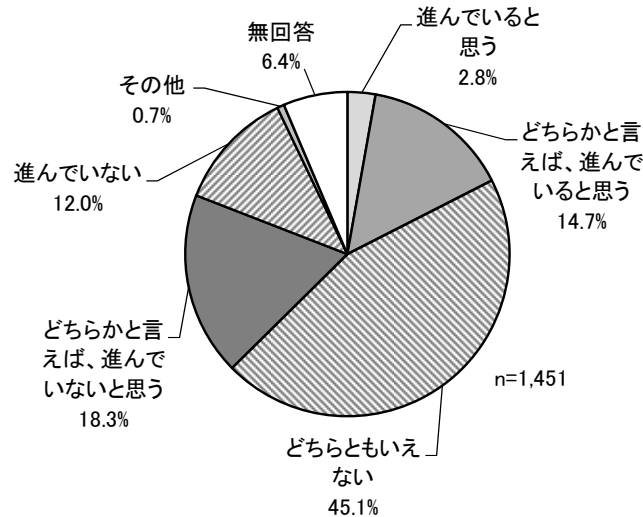
## (10) 市民参加・市民協働について

### ① 市民参加・市民協働の進捗状況

【問24】 合併後、各地域に地域自治区が設けられるなど、市民と行政の協働による地域づくりが進められつつあります。この市民と行政の新しい関係づくりは進んでいると思いますか？ 〈単数回答〉

「進んでいると思う」「どちらかと言えば、進んでいると思う」を合わせると17.5%となっています。一方、「進んでいない」「どちらかと言えば、進んでいないと思う」を合わせると30.3%となっています。

図6-15 市民参加・市民協働の進捗状況 〈単数回答〉

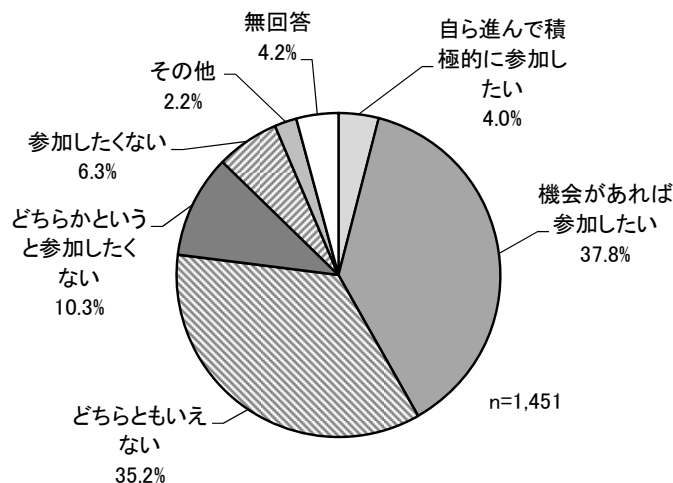


### ② 地域づくり活動への参加意向

【問25】 あなたは地域で行っている各種地域づくり活動に参加したいと思いますか？ 〈単数回答〉

「自ら進んで積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせた参加意向のある人は41.8%となっています。一方、「参加したくない」「どちらかというとなら参加したくない」を合わせた参加意向のない人は16.6%となっています。

図6-16 地域づくり活動への参加意向 〈単数回答〉

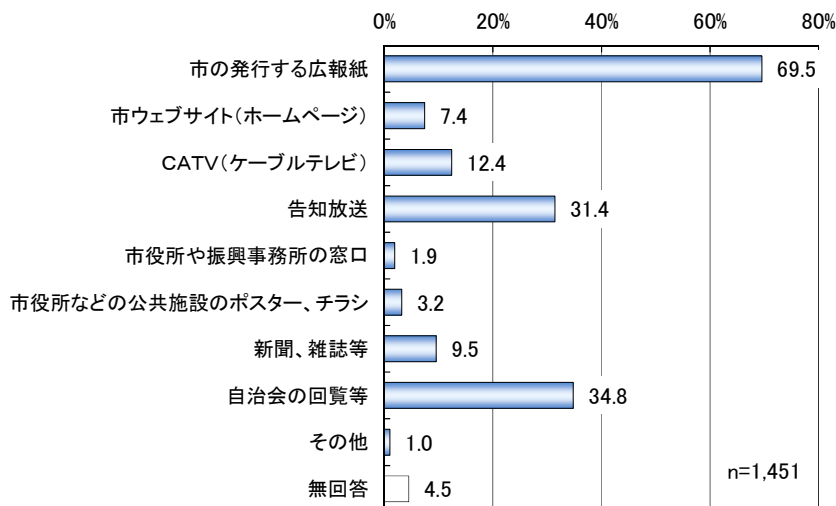


### ③ 市政情報の取得手段

【問 2 6】市ではケーブルテレビや告知放送受信機の整備を進め、各種媒体を使って情報の発信を行っています。主にどのような方法で市政の情報を入手されていますか？ 〈複数回答：2つまで〉

「市の発行する広報紙」が69.5%と最も高く、次いで「自治会の回覧等」が34.8%「告知放送」が31.4%の順となっています。

図6-17 市政情報の取得手段 〈複数回答：2つまで〉

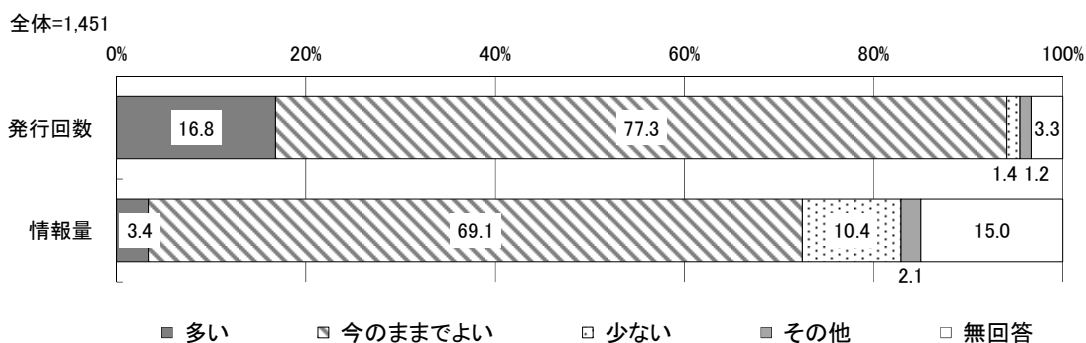


### ④ 市広報誌への感想

【問 2 7】市では広報誌を月2回発行しています。発行回数や情報量についてどのように感じていますか？ 〈単数回答：それぞれ1つに回答〉

発行回数については「多い」が16.8%、「今のままでよい」が77.3%、「少ない」が1.4%となっています。情報量については、「多い」が3.4%、「今のままでよい」が69.1%、「少ない」が10.4%となっています。

図6-18 市広報誌への感想

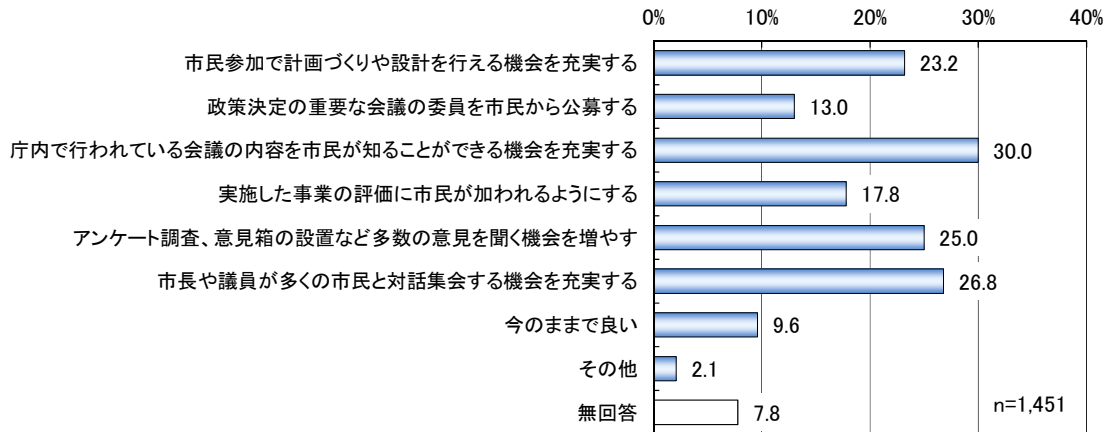


## ⑤ 市民意見の反映に必要なこと

【問28】市民の意見を市政に反映するために、何が必要だと思いますか？ 〈複数回答：2つまで〉

「庁内で行われている会議の内容を市民が知ることができる機会を充実する」が30.0%と最も高く、次いで「市長や議員が多くの市民と対話集会する機会を充実する」が26.8%、「アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす」が25.0%、「市民参加で計画づくりや設計を行える機会を充実する」が23.2%の順となっています。一方、「今のままで良い」は9.6%となっています。

図6-19 市民意見の反映に必要なこと 〈複数回答：2つまで〉

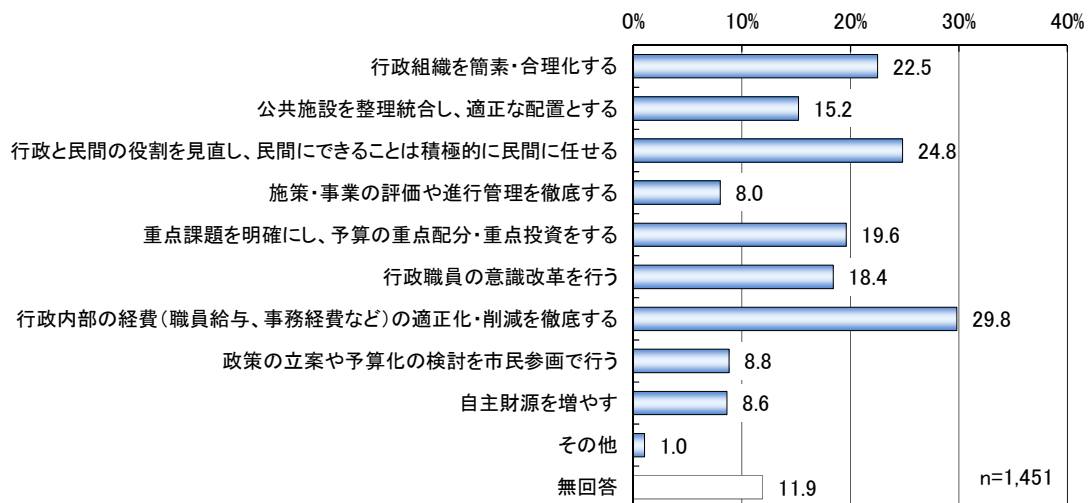


## (11) 行財政運営について

【問29】効率的な行財政運営を行うために、行財政改革に取り組んでいます。今後さらに進めなければならないことは何だと思いますか？ 〈複数回答：2つまで〉

「行政内部の経費（職員給与、事務経費など）の適正化・削減を徹底する」が29.8%と最も高く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が24.8%、「行政組織を簡素・合理化する」が22.5%の順となっています。

図6-20 行財政改革に必要なこと 〈複数回答：2つまで〉





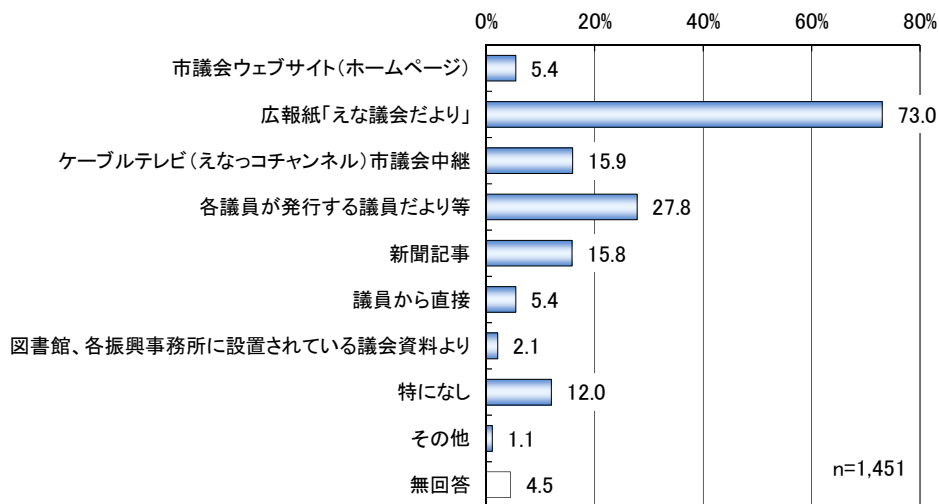
## (12) 市議会の活動について

### ① 市議会活動情報の取得手段

【問30】市議会の活動について、主にどこから情報を得ていますか？〈複数回答：該当するものすべて〉

「広報紙「えな議会だより」」が73.0%と最も高く、次いで「各議員が発行する議員だより等」が27.8%、「ケーブルテレビ（えなっコチャンネル）市議会中継」が15.9%、「新聞記事」が15.8%の順となっています。一方、「特になし」は12.0%となっています。

図6-21 市議会活動情報の取得手段〈複数回答：いくつでも〉

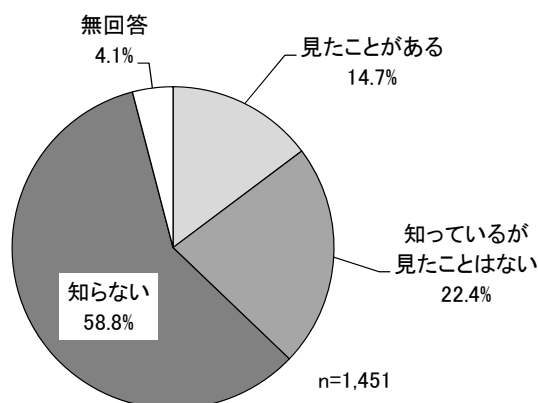


### ② 市議会中継のインターネット配信の周知度

【問31】市議会では一昨年より本会議の様子をインターネットによるライブ配信、録画配信を行っていますが、ご存知ですか？〈単数回答〉

「知らない」が58.8%と最も高く、次いで「知っているが見たことはない」が22.4%、「見たことがある」が14.7%の順となっています。

図6-22 市議会中継のインターネット配信の周知度



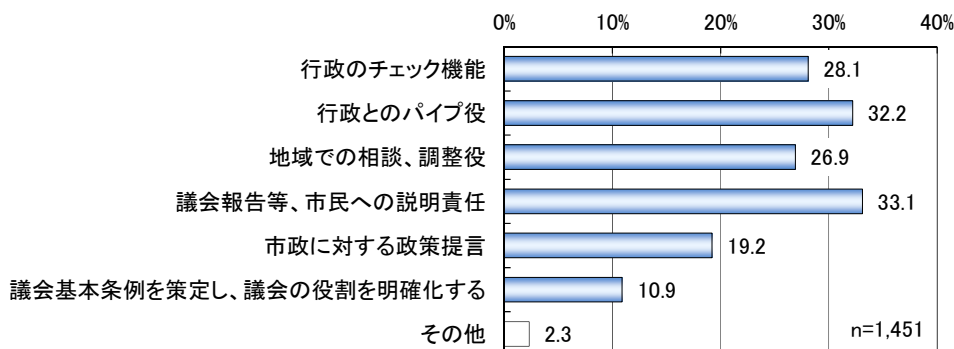
### ③ 市議会・議員の活動への期待

【問 3 2】市議会・議員の活動に対して、特に期待することは何ですか？

〈複数回答：2つまで〉

「議会報告等、市民への説明責任」が 33.1%と最も高く、次いで「行政とのパイプ役」が 32.2%、「行政のチェック機能」が 28.1%、「地域での相談、調整役」が 26.9%の順となっています。

図6-23 市議会・議員の活動に期待すること 〈複数回答：2つまで〉



## (13) 避難行動について

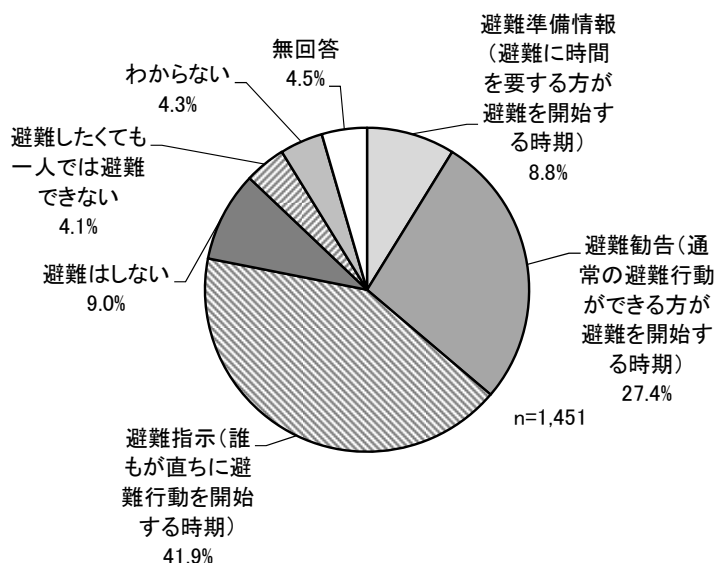
### ① 避難行動の開始時期

【問 3 3】台風や豪雨等により避難に関する情報が発令された場合、あなたはどの段階で避難行動を開始しますか？

〈単数回答〉

「避難準備情報（避難に時間を要する方が避難を開始する時期）」が 8.8%、「避難勧告（通常の避難行動ができる方が避難を開始する時期）」が 27.4%、「避難指示（誰もが直ちに避難行動を開始する時期）」が 41.9%で、合わせて避難する人は約 78%となっています。「避難はしない」が 9.0%、「避難したくても一人では避難できない」が 4.1%、「わからない」が 4.3%、「わからない」が 4.3%となっています。

図6-24 避難行動の開始時期

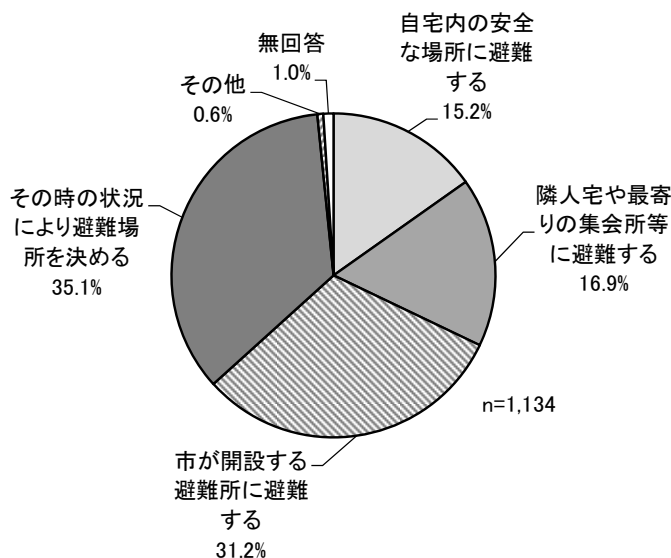


## ② 最初の避難場所

【問 3 4】 問 33 で 1～3 を選択した方にお聞きします。最初の避難場所は次のどれですか？ 〈単数回答〉

避難するという人のうち、「その時の状況により避難場所を決める」が 35.1%と最も高く、次いで「市が開設する避難所に避難する」が 31.2%、「隣人宅や最寄りの集会所等に避難する」が 16.9%、「自宅内の安全な場所に避難する」が 15.2%の順となっています。

図6-25 最初の避難場所

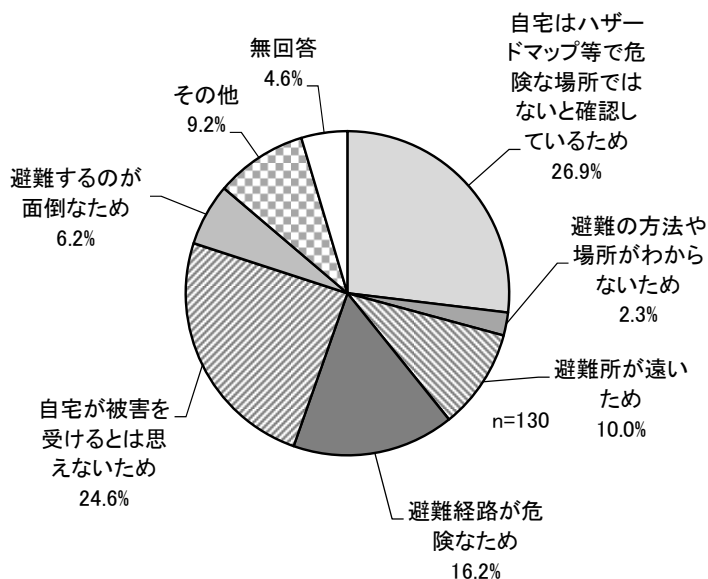


## ③ 避難しない理由

【問 3 5】 問 33 で 4 を選択した方にお聞きします。避難しない理由は次のどれですか？ 〈単数回答〉

避難はしない人のその理由は、「自宅はハザードマップ等で危険な場所ではないと確認しているため」が 26.9%と最も高く、次いで「自宅が被害を受けるとは思えないため」が 24.6%、「避難経路が危険なため」が 16.2%の順となっています。

図6-26 避難しない理由



## (14) 男女共同参画社会について

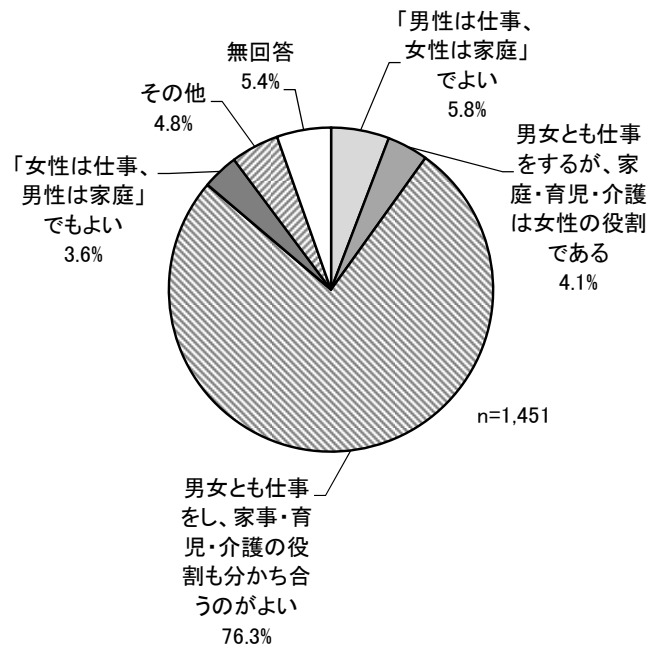
### ① 「男性は仕事、女性は家庭」という考えについて

【問36】「男性は仕事、女性は家庭」という考えについてどのように思いますか？

〈単数回答〉

「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が76.3%と圧倒的に高くなっています。「男性は仕事、女性は家庭」でよい」が5.8%、「男女とも仕事をするが、家庭・育児・介護は女性の役割である」が4.1%、「女性は仕事、男性は家庭」でもよい」が3.6%の順となっています。

図6-27 「男性は仕事、女性は家庭」という考えについて



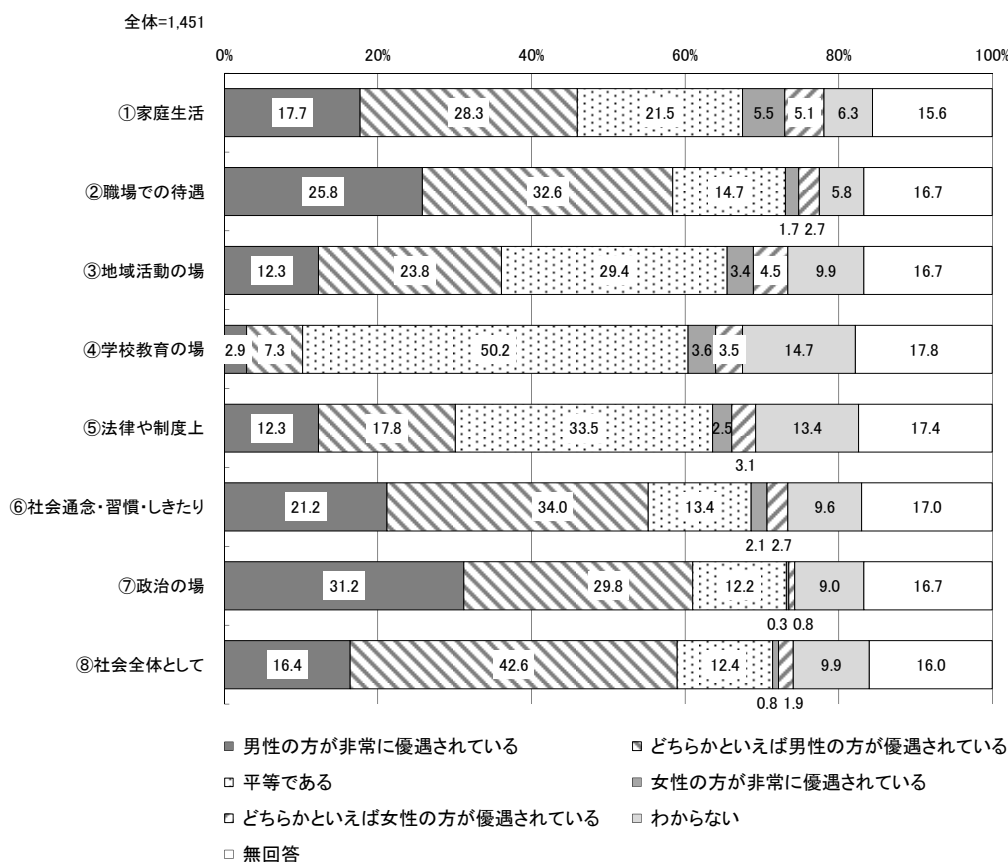
## ② 場面による男女の優遇差

【問37】 次の①～⑧について男女のどちらが優遇されていると思いますか？

(それぞれ1つに回答)

⑤職場での待遇、⑥社会通念・習慣・しきたり、⑦政治の場、⑧社会全体としては、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが55%から61%と高くなっています。次いで、①家庭生活、③地域活動の場、⑤法律や制度上では、男性の方が優遇されているが30%から46%となっています。④学校教育の場では「平等である」が50.2%と高く男性の方が優遇されているは10.2%と低くなっています。⑤法律上や制度上と③地域活動の場でも「平等である」が30%前後となっています。「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは、①家庭生活において10.6%とほかの項目に比べて高くなっています。

図6-28 場面による男女の優遇差



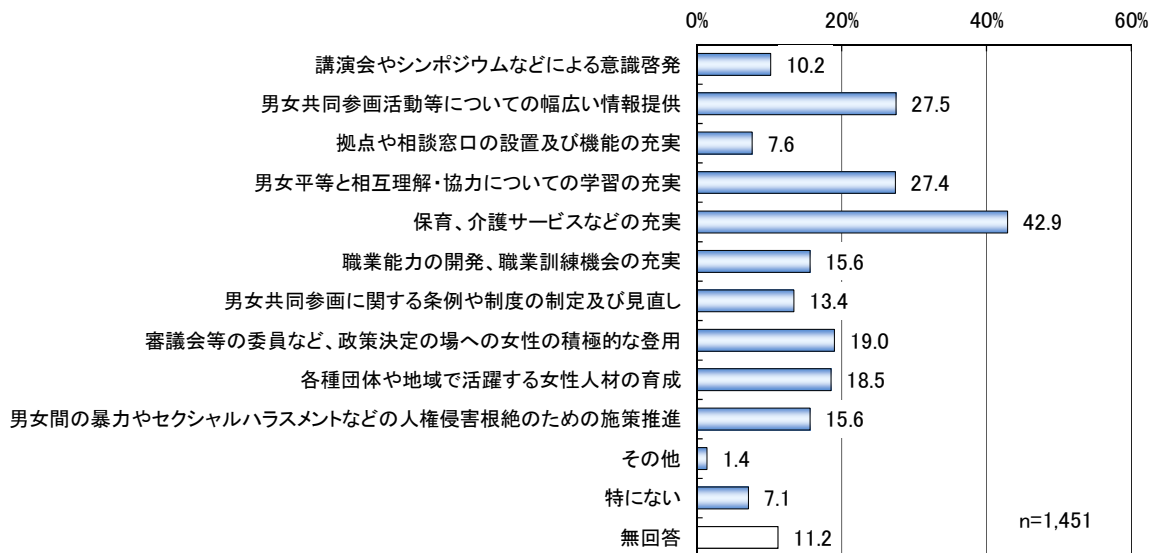
### ③ 男女共同参画社会の実現に必要なこと

【問38】男女共同参画社会の実現に向けて特に力を入れるべきことは何だと思いますか？

〈複数回答：3つまで〉

「保育、介護サービスなどの充実」が42.9%と最も高くなっています。次いで、「男女共同参画活動等についての幅広い情報提供」が27.5%、「男女平等と相互理解・協力についての学習の充実」が27.4%、「審議会等の委員など、政策決定の場への女性の積極的な登用」が19.0%、「各種団体や地域で活躍する女性人材の育成」が18.5%の順となっています。一方、「特にない」は7.1%となっています。

図6-29 男女共同参画社会の実現に必要なこと 〈複数回答：3つまで〉



---

平成26年度  
市民意識調査結果報告書  
(概要版)

恵那市役所 総合政策課

---